令和６年度

帰国生徒選抜学生募集要項

工　　学　　部

情 報 工 学 部

国立大学法人

九州工業大学

本学生募集要項の内容に変更が生じた場合は，速やかに本学ホームページにてお知らせします。

※入試に関する重要なお知らせ

https://www.kyutech.ac.jp/examination/

帰国生徒選抜出願手続から入学手続までの流れ

選抜区分・選考方法・出願資格・出願期間・日程等を確認する

↓

提出書類を確認・準備する

英語資格・検定試験のスコアを利用される方は早めに証明書を準備してください。

↓

インターネット出願サイトから出願情報を登録する

インターネット出願登録開始日時：令和５年１０月２５日（水）９時～
情報工学部志願者は「主体性等申告」まで登録してください。（Ｐ２６～Ｐ３４参照）

↓

入学検定料を支払う

入学検定料のお支払い前に登録情報に誤りがないかよくご確認ください。
支払いにはクレジットカード、コンビニ、銀行 ATM（ペイジー）、ネットバンキングが利用できます。

↓

提出書類を郵送または持参する

提出期限：令和５年１１月８日（水）１７時【必着】

↓

受験票を印刷する

受験票の公開日時：令和５年１１月２１日（火）１７時～

↓

試験を受ける

工　学　部試験日：令和５年１１月３０日（木）～１２月２日（土）※のいずれか１日
※志願者多数の場合は，１２月２日(土)まで試験日を設定することがあります。

情報工学部試験日：令和５年１１月３０日（木）～１２月１日（金）のいずれか１日

↓

合格発表を確認する

合格者

合格発表：令和５年１２月８日（金）１６時～

入学手続を行う

入学手続：令和５年１２月２１日（木）１６時３０分【必着】

目　　次

九州工業大学のアドミッションポリシー …… 1
１．募集人員 …… 2
２．出願資格 …… 3
３．試験日及び試験場 …… 3
４．選考方法等 …… 4
５．英語資格・検定試験の利用 …… 9
６．出願手続及び出願期間等 …… １１
７．出願上の注意事項 …… ３７
８．障がい等を有する入学志願者の配慮に関する事前相談 …… ３８
９．受験票 …… ３９
１０．受験上の注意事項 …… ４０
１１．不正行為 …… ４１
１２．合格発表 …… ４１
１３．入学手続 …… ４２
１４．入学手続時の納付金 …… ４２
◆高等教育の修学支援制度 …… ４３
◆奨学金制度 …… ４３
１５．合格者に対する入学前教育 …… ４４
１６．入学試験成績等の開示 …… ４５
１７．個人情報の取扱い …… ４５
１８．入学試験に関する問い合わせ先 …… ４６
１９．安全保障輸出管理 …… ４６
２０．ノートパソコンの必携 …… ４６
２１．入学後の住居 …… ４７
２２．キャンパス全面禁煙 …… ４７
２３．各学部のアドミッションポリシー
工　学　部 …… ４８
情報工学部 …… ５０

◆過去の帰国生徒選抜実施状況 …… ５２
◆試験場までのアクセス（九州工業大学の所在地） …… ５３
工　学　部（戸畑キャンパス） …… ５４
情報工学部（飯塚キャンパス） …… ５５

九州工業大学のアドミッションポリシー（入学者受入方針）

建学の精神：技術に堪能（かんのう）なる士君子

今をさかのぼること１１０余年，明治４２年（１９０９年），北九州・戸畑の地（現在の北九州市戸畑区）に九州工業大学の前身である私立明治専門学校が開校しました。戸畑からほど近い八幡の地には明治３４年（１９０１年）に官営八幡製鉄所が設置され，日本の近代化を殖産興業から支えた重要な産業拠点となりました。八幡製鉄所を含む北部九州を中心に現存する歴史的な産業建造物群は２０１５年に「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録され，その歴史的価値を世界に認められたことは記憶に新しいところです。

これらの産業施設に魂を込めるべく，日本における技術者（エンジニア）の養成を旗印として，当時の高等教育の巨人，山川健次郎博士を初代総裁として招き，安川敬一郎および松本健次郎の巨額の寄付のもと設立されたのが明治専門学校です。このときに示されたのが「技術に堪能なる士君子」の養成，すなわち技術に精通するとともに，道義心のある人格者を養成することを目的に，単に学問・技術を授けるのではなく，人間形成にも重点を置いた教育を行うという，建学の精神です。本学はその設置形態を私立から官立，そして国立大学へと変えつつも，この建学の精神を脈々と受け継ぎ，明治，大正，昭和，平成を経て，令和の現在に至るまで，日本の近代化，工業化，産業の発展に貢献する，７万人を超える優れた技術者を輩出し続けてきました。

また，昭和６１年（１９８６年）には，情報通信革命が始まる中，日本の情報通信技術を支える技術者を輩出するために，福岡県飯塚市に情報工学部を設置しました。平成１２年（２０００年）には，生命（バイオ）のもつ特性を工学的に活用し２１世紀を支える技術を創出する技術者を輩出するため，北九州市若松区の学研都市内に生命体工学研究科を設置しました。

九州工業大学は，Society5.0 を目指して急速に社会が進展する中で，工学・情報工学・生命体工学の各分野で新たな知識と技術を生み出し続ける研究力を背景としながら，常に日本の産業を支え，世界で活躍できる技術者を育てる学びの場を提供し続けています。そして多くの卒業生が企業の中核技術者や経営者として社会を支え，未来を切り拓いています。

九州工業大学は，「技術に堪能なる士君子」の養成という建学の精神のもと，幅広い理工学分野における教育と研究を通して人類・社会に貢献することを基本理念としています。この理念に則り，「ものづくり」と「情報」における新しい技術と科学の発展のため，深い専門性と幅広い知識・教養，多様な人々と協働するために必要なコミュニケ―ション力および技術者として必要な倫理観を備えた人材を育成し，グローバル社会で活躍できる優れた技術者（グローバルエンジニア）としての能力を発展・向上させることを使命としています。

そこで，本学が入学者に期待することは以下のとおりです。

(1) 理工学分野の学修において基盤となる，数学，理科（物理，化学，生物等），情報などの理数系教科・科目に高い学力を持ち，各高等学校等が定める教育課程に従い全ての教科・科目の基礎学力を持っていること。
(2) 理工系人材として成長する強い意志と，「社会をより良くする何かを残したい，社会の問題を解決したい」という夢をもち続け，自らそのために行動できること。
(3) 国際化に対応できるコミュニケーション力の修得や，様々な文化を理解し受容することに前向きであること。
(4) 自律的な学びから広い視野を持ち，多様な人々と協働することを通して，創意・発見する知の探究を持続する必要性を理解していること。

本学は，入学者の選抜にあたり，多様な選抜方法で，(1)～(4)の素養や能力を多面的・総合的に評価します。いずれの選抜方法においても，調査書等を用いて(1)の高等学校段階までの履修状況を確認します。加えて，一般選抜では，大学入学共通テスト，個別学力検査により，問題解決力を問うため，その基盤となる主に(1)の基礎学力と理数系の思考力・判断力・表現力等を評価します。一方，特別選抜では，本学での学修に対応できる基礎学力を問うとともに，技術者としての適性や主体性，多様な人々と協働する姿勢なども考慮し，(2)，(3)，(4)についても多面的に資質や能力を評価します。

１．募集人員

学　部	類	募集人員
工　学　部	工学１類	若干名
	工学２類	若干名
	工学３類	若干名
	工学４類	若干名
	工学５類	若干名
情報工学部	情工１類	若干名
	情工２類	若干名
	情工３類	若干名

（注）入学後，１年生は学部・類に所属して共通教育を受け，その後，２年生進級時に学科への所属となります。各類から２年生進級時に所属できる学科は，下表のとおりです。
なお，学科への所属は，本人の適性や興味等に応じた希望と学業成績により決定します。
　また，各学科に産業界（社会）が求める人材に対応するコースを設定し，１年生の共通教育を踏まえた専門分野の知識やスキルを修得できるようになっています。
各学科及びコースの詳細については，本学ホームページに掲載中の「大学案内」（https://www.kyutech.ac.jp/information/publication.html）を参照してください。

※広報誌一覧

【工学部】

類（全選抜区分の募集人員）【専門分野】	１年生	学科（定員）※２年生進級時に所属決定	コース
工学１類　（ 80名）【土木,建築学】	共通教育	建設社会工学科　（ 80名）	建築学コース／国土デザインコース
工学２類　（165名）【機械,制御,宇宙】		機械知能工学科　（136名）	知能制御工学コース／機械工学コース
		宇宙システム工学科（ 55名）	機械宇宙システム工学コース※ ／電気宇宙システム工学コース※
工学３類　（144名）【電気,電子,通信,情報,宇宙】		電気電子工学科　（126名）	電気エネルギー工学コース／電子システム工学コース
工学４類　（ 74名）【応用化学】		応用化学科　（ 74名）	応用化学コース
工学５類　（ 68名）【マテリアル,金属,環境,宇宙】		マテリアル工学科　（ 60名）	マテリアル工学コース

※　機械宇宙システム工学コースは工学２類及び工学５類から，電気宇宙システム工学コースは工学３類及び工学５類から進級できます。

【情報工学部】

類（全選抜区分の募集人員）【専門分野】	１年生	学科（定員）※２年生進級時に所属決定	コース
情工１類　（177名）【情報,通信】	共通教育	知能情報工学科　（ 93名）	データ科学コース／人工知能コース／メディア情報学コース
		情報・通信工学科　（ 93名）	ソフトウェアデザインコース／情報通信ネットワークコース／コンピュータ工学コース
情工２類　（110名）【情報,機械,制御】		知的システム工学科（ 94名）	ロボティクスコース／システム制御コース／先進機械コース
情工３類　（123名）【情報,電子,応用化学,生命科学,マテリアル】		物理情報工学科　（ 65名）	電子物理工学コース／生物物理工学コース
		生命化学情報工学科（ 65名）	分子生命工学コース／医用生命工学コース

２．出願資格

学　部	出願資格
工　学　部 情報工学部	日本の国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者で，次の（１）～（６）のいずれかに該当するもの （１）外国において最終の学年を含めて２年以上継続して学校教育を受け※1，１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を２０２２年４月１日から２０２４年3月３１日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 （２）外国において２年以上継続して学校教育を受け※1，引き続き，日本の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校後期課程の第２学年または第３学年に編入学を認められた者で，２０２２年４月１日から２０２４年３月３１日までに卒業（修了）したもの及び卒業（修了）見込みのもの （３）スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を２０２２年または２０２３年に授与された者 （４）ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を２０２２年または２０２３年に授与された者 （５）フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を２０２２年または２０２３年に授与された者 （６）グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（以下「GCE-A レベル資格」という。）※2を２０２２年または２０２３年に取得した者 ※１　（１）および（２）について，外国における学校教育には，当該外国の学校が行う通信教育による授業科目を日本において履修する場合を含む。 ※２ GCE-A レベル資格の科目数等に関する要件：GCE-A レベル試験において１科目以上合格（Ｅ評価以上）

３．試験日及び試験場

（１）試験日

工　学　部：令和５年１１月３０日（木）～１２月２日（土）※のいずれか１日
※志願者多数の場合は，１２月２日(土)まで試験日を設定することがあります。

情報工学部：令和５年１１月３０日（木）～１２月１日（金）のいずれか１日

（注）試験日及び集合時間は，受験票により通知します。

（２）試験場

学部	所在地及び集合場所
工　学　部	九州工業大学　工学部（戸畑キャンパス） 〒804-8550　福岡県北九州市戸畑区仙水町１番１号 集合場所：九州工業大学総合教育棟３階　Ｃ－３Ｃ講義室 （５４ページのキャンパス地図を参照）
情報工学部	九州工業大学　情報工学部（飯塚キャンパス） 〒820-8502　福岡県飯塚市川津６８０番４ 集合場所：九州工業大学情報工学部大講義棟５００人講義室 （５５ページのキャンパス地図を参照，スクールバスの無料運行については以下の URL を参照） https://www.iizuka.kyutech.ac.jp/admissions/suisen_schedule ※入学選抜・入学案内（試験当日ご案内）

（注）指定された試験日の集合時間に，志望した学部の集合場所まで集合してください。

４．選考方法等

（１）工学部

①　選考方法

大学入学共通テストを課さず，適性検査（英語，数学，理科）及び主体性等評価の結果に基づき，合否を判定します。

②　配点，内容，採点・評価方法等及び合否判定基準

<table>
<tr><td>配点，内容，採点・評価方法等</td><td>

（１）評価項目及び配点（900 点満点）

<table>
<tr><th rowspan="3">類</th><th colspan="4">①適性検査</th><th rowspan="2">②主体性等評価</th></tr>
<tr><th>CBT</th><th colspan="3">口頭試問</th></tr>
<tr><th>英語</th><th>数学</th><th colspan="2">理科</th><th>口頭試問</th></tr>
<tr><td>工学１類
工学２類
工学３類</td><td rowspan="3">１５０</td><td rowspan="2">３００</td><td rowspan="2">３００</td><td rowspan="2">物理の領域</td><td rowspan="4">１５０</td></tr>
<tr><td>工学４類</td><td>２５０</td><td>３５０</td><td>化学の領域</td></tr>
<tr><td>工学５類</td><td>３００</td><td>３００</td><td>物理または化学の領域</td></tr>
</table>

①　適性検査（英語，数学，理科）
英語は，タブレットを用いた CBT（Computer Based Testing）方式による選択式問題で，数学及び理科は個人面接※における口頭試問で実施し，基礎的学力等を評価します。

②　主体性等評価
高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動に関して志願者本人が記入する「主体性等申告書」（出願時に提出）を参考とし，個人面接※における口頭試問により評価します。
なお，主体性等申告書の記入に際しては，下記の帰国生徒選抜サイトに掲載の「【工学部志願者用】主体性等申告書の様式（ＰＤＦ）」を参照し，２ページ目の「作成にあたっての注意事項等」を確認してください。

https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-coming.html

※　個人面接は，約３０分間で実施し，複数名の面接担当者が評価します。

（２）英語資格・検定試験スコア証明書の利用
出願時にスコア証明書を提出することで選択に利用できます。
詳細は，９ページ「５．英語資格・検定試験の利用」を参照してください。

</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>総得点の高い順に合格者を決定します。</td></tr>
</table>

③適性検査の出題範囲

工学部の適性検査における各領域の出題範囲は，下表のとおりです。いずれの問題も日本の高等学校の教科書の範囲を超えない基本的なものですが，公式や単語の丸暗記だけでは解答できないこともありますので，基本的な事項を十分に理解しておいてください。

＜適性検査（英語）の出題範囲（工学部・令和６年度）＞

【工学１類，工学２類，工学３類，工学４類，工学５類】

領　域	出題範囲
英　語	・コミュニケーション英語Ⅰ ・コミュニケーション英語Ⅱ ・英語表現Ⅰ ※　選択式問題。リスニング及びスピーキングは出題しません。

＜適性検査（数学・理科）の出題範囲（工学部・令和６年度）＞

【工学１類】

領　域	出題範囲
数　学	・数学Ⅰ ・数学Ⅱ（「いろいろな式の『因数定理と高次方程式』」を除く） ・数学Ⅲ（「極限の『数列とその極限』」と「積分法」を除く） ・数学Ａ ・数学Ｂ（「確率分布と統計的な推測」を除く）
物　理	・物理基礎（「様々な物理現象とエネルギーの利用の『熱，電気，エネルギーとその利用』」を除く） ・物理　　（「電気と磁気」と「原子」を除く）

【工学２類】

領　域	出題範囲
数　学	・数学Ⅰ（「データの分析」を除く） ・数学Ⅱ ・数学Ⅲ（「平面上の曲線と複素数平面の平面上の曲線の『媒介変数による表示，極座標による表示』」と「平面上の曲線と複素数平面の『複素数平面』」と「極限の関数とその極限の『合成関数と逆関数，関数値の極限』」と「微分法の導関数の『合成関数の導関数，三角関数・指数関数・対数関数の導関数』」と「微分法の『導関数の応用』」と「積分法」を除く） ・数学Ａ ・数学Ｂ（「確率分布と統計的な推測」を除く）
物　理	・物理基礎 ・物理（「波」と「原子」と「電気と磁気の『電流と磁界』」を除く）

【工学３類】

領　域	出題範囲
数　学	・数学Ⅰ（「データの分析」を除く） ・数学Ⅱ ・数学Ⅲ（「微分法の導関数の『合成関数の導関数，三角関数・指数関数・対数関数の導関数』」と「微分法の『導関数の応用』」と「積分法」を除く） ・数学Ａ ・数学Ｂ（「確率分布と統計的な推測」を除く）
物　理	・物理基礎（「様々な物理現象とエネルギーの利用の『熱，波』」を除く） ・物理　　（「原子」を除く）

【工学４類】

領　域	出題範囲
数　学	・数学Ⅰ（「データの分析」を除く） ・数学Ⅱ ・数学Ａ ・数学Ｂ（「確率分布と統計的な推測」を除く）
化　学	・化学基礎 ・化学（「高分子化合物の性質と利用」を除く）

【工学５類】

領　域	出題範囲
数　学	・数学Ⅰ（「データの分析」を除く） ・数学Ⅱ ・数学Ａ ・数学Ｂ（「確率分布と統計的な推測」を除く）
物　理	・物理基礎（「様々な物理現象とエネルギーの利用の『エネルギーとその利用』」を除く） ・物理　　（「原子」を除く）
化　学	・化学基礎（「化学と人間生活」を除く） ・化学　　（「無機物質の性質と利用の『無機物質と人間生活』」と「有機化合物の性質と利用」と「高分子化合物の性質と利用」を除く）

（２）情報工学部

①選考方法

大学入学共通テストを課さず，適性検査（英語，数学，理科）及び主体性等評価の結果に基づき，合否を判定します。

②配点，内容，採点・評価方法等及び合否判定基準

<table>
<tr><td>配点，内容，採点・評価方法等</td><td>

（１）評価項目及び配点（950 点満点）

<table>
<tr><th rowspan="3">類</th><th colspan="3">①適性検査</th><th rowspan="3">②主体性等評価</th></tr>
<tr><th>CBT</th><th colspan="2">CBT および口頭試問</th></tr>
<tr><th>英語</th><th>数学</th><th>理科</th></tr>
<tr><td>情工１類</td><td rowspan="3">１５０</td><td>３３０</td><td>２７０</td><td rowspan="3">２００</td></tr>
<tr><td>情工２類</td><td>３００</td><td>３００</td></tr>
<tr><td>情工３類</td><td>２７０</td><td>３３０</td></tr>
</table>

①適性検査（英語，数学，理科）

英語はタブレットを用いた CBT（Computer Based Testing）方式による選択式問題で実施し，基礎的学力等を評価します。数学及び理科は，タブレットを用いた CBT 方式による選択式問題に加えて，個人面接※における口頭試問により，基礎的学力等を評価します。なお，理科は，インターネット出願登録時に物理，化学，生物の領域から１つを選択してください。

②主体性等評価

インターネット出願登録時に入力した，高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動に関する「主体性等申告」の内容，および，個人面接※における「主体性等申告」等に関する口頭試問により，論理的な表現力や主体的・多様的・協働的な学びの態度等を評価します。

なお，主体性等申告の入力に際しては，３１ページに記載している「入力にあたっての注意事項等」を確認してください。

※　個人面接は，約２０分間で実施し，複数の面接担当者が評価します。

（２）英語資格・検定試験スコア証明書の利用

出願時にスコア証明書を提出することで選抜に利用できます。

詳細は，９ページ「５．英語資格・検定試験の利用」を参照してください。

</td></tr>
<tr><td>合否判定基準</td><td>・「適性検査」及び「主体性等評価」の総合点の高い順に合格者を決定します。
・同点の場合は特定の評価項目により順位を決定します。</td></tr>
</table>

③ 適性検査の出題範囲

適性検査の出題範囲は下表のとおりです。いずれの問題も日本の高等学校の教科書の範囲を超えないものです。

適性検査の数学，理科（インターネット出願登録時に物理，化学，生物の領域から１つを選択）及び英語は，タブレットを用いたCBT（Computer Based Testing）方式による選択式問題の試験として実施します。

また，個人面接においても，適性検査の数学及び理科の問題に関する口頭試問を実施します。

＜適性検査の出題範囲（情報工学部・令和６年度）＞

【情工１類，情工２類，情工３類】

領　域	出題範囲
数　学	・数学Ⅰ（「データの分析」は除く） ・数学Ⅱ ・数学Ａ ・数学Ｂ（「確率分布と統計的な推測」は除く）
物　理	・物理基礎 ・物理（「原子」は除く）
化　学	・化学基礎 ・化学（「高分子化合物の性質と利用」は除く）
生　物	・生物基礎 ・生物（「生物の進化と系統」は除く）
英　語	・コミュニケーション英語Ⅰ ・コミュニケーション英語Ⅱ ・英語表現Ⅰ ※　選択式問題。リスニング及びスピーキングは出題しません。

５．英語資格・検定試験の利用

（１）利用の要件等

利用を希望する場合は，インターネット出願登録時にスコアを入力した上で，当該スコアの公式な証明書を１つのみ提出してください。

利用できる英語資格・検定試験の種類は，下記「（２）換算表」のとおりで，スコア証明書の有効期限にかかわらず，令和３年４月１日以降に受検（「英検」については２次試験）された公式（オフィシャル）スコアを有効とします。

スコア証明書の準備にあたっては，各試験団体が公表している発行期間を事前に確認のうえ，出願前までに準備してください。

提出されたスコアを「（２）換算表」に基づき換算したものを「換算点」とします。換算点の利用方法は下表のとおりです。

換算点の利用方法
適性検査（英語）の得点に対し，加点します。ただし，加点後の得点は適性検査（英語）の配点の満点（１５０点）を上限とします。

（２）換算表

英語資格・検定試験のスコア換算表は以下のとおりです。

換算点	英検，英検S-CBT，英検S-Interview［注1］					GTEC（検定版）（CBT）	TOEIC（L&R）（S&W）［注2］	TOEFL iBT［注3］	TEAP	TEAP CBT	ｹﾝﾌﾞﾘｯｼﾞ英語検定	IELTS
帰国生徒選抜	各受験級のCSEスコア判定対象範囲											
	１級	準１級	２級	準２級	３級							
30点	2630以上					1350以上	1845以上	95以上	375以上	800以上	180以上	7.0以上
27点	2304	2304以上				1180	1560	72	309	600	160	5.5
24点		2150	2150以上			1090	1380	58	275	525	150	5.0
21点		1980	1980			980	1180	45	235	435	142	4.5
18点			1950			930	1150	42	225	420	140	4.0
15点			1850	1850以上		850	915		190	350	132	
12点			1790	1790		790	835		170	300	127	
9点			1728	1728		720	755		145	255	122	
6点				1700		680	625		135	235	120	
3点				1670	1670以上	650	595				118	
0点	2304未満	1980未満	1728未満	1670未満	1670未満	650未満	595未満	42未満	135未満	235未満	118未満	4.0未満

［注1］英検はCSEスコアにより換算点の判定を行うが，各受験級の試験内容で判定可能とされている範囲のスコアを対象とする。
［注2］TOEIC(L&R)(S&W)は，TOEIC(S&W)のスコアを2.5倍にしてTOEIC(L&R)に合算したスコアで換算点を判定する。
［注3］TOEFL iBTは，Test Date スコアのみを利用対象とする。（MyBest スコアは利用しない。）
［注4］表中の　　は換算点の対象外となります。

（３）スコア証明書提出における注意事項

① スコア証明書として，下表に示す各資格・検定試験の公式な証明書を出願時に１つのみ提出してください。

② TOEFL iBT 及び IELTS のスコア利用を希望する場合は，志願者からの請求によって各試験団体から大学へ直接送付になるため，出願時に同封する必要はありませんが，出願期間内に到着しない場合，当該スコアは利用できないことから，出願期間内に証明書が大学に到着するように，志願者自身で手続きを行ってください

資格・検定試験名	提出する公式な証明書	原本または写しの別	資格・検定試験の有効期間
実用英語技能検定 （英検）	合格証明書，英検 CSE スコア証明書，個人成績表のいずれか ※CSE スコアにより換算点の判定を行うため，各受験級の合否は問わない ※合格証明書の場合は，和文または英文のいずれでも可	原本または写し	2021 年度第 1 回検定以降
GTEC 検定版 (Advanced,Basic,Core) GTEC CBT タイプ	Official Score Certificate ※SCORE REPORT 及び受検結果は不可	原本または写し	受検日が 2021 年 4 月 1 日以降
TOEIC Tests ※TOEIC（L&R）と（S&W）の両方のスコアが必要 ※IP テストは対象外	Official Score Certificate（紙の公式認定証）	原本	
	Official Score Certificate（デジタル公式認定証）	写し ※QR コードが読取可能な PDF 版の印刷物	
TOEFL iBT (Home Edition も可)	Official Score Reports ※TOEFL 事務局から大学への直接の送付 ※請求時の DI コードは「8000」	原本	
TEAP TEAP CBT	成績表	原本または写し	
ケンブリッジ英語検定 （リンガスキルも可）	認定ステートメント，認定証，Test Report のいずれか	原本	
IELTS	Test Report Form ※IELTS 事務局から大学への直接の送付 ※Test Report Form の送付にあたっては「電子送信」を指定	原本	

③ スコア証明書は，出願（選抜区分）毎に提出してください。（例えば，総合型選抜Ⅱや一般選抜前期日程などの他の選抜にも出願する場合は，改めて提出する必要があります。）

④ スコア証明書の再発行手続きが間に合わないため原本を提出できない場合で，公式な証明書の写しがあり，出身学校等の校長が原本の写しであることを証明（以下「原本証明※」）できるときは，原本証明したものを，原本の代わりに提出してください。
※ 「原本証明」は，当該写しが原本の写しに相違ない旨を記入し，証明のため学校長印を押印してください。なお，当該写しの表面に原本証明を行う余白がない場合は，裏面に記入・押印しても構いません。

⑤ 英検，GTEC 及び TEAP のスコアを利用する場合，当該試験の成績請求に関する必要事項（例：個人番号等）をインターネット出願登録時に入力することで，原本証明なしの写しの提出も可とします。この場合，必要に応じて，入力された情報を元に大学から試験実施団体に成績請求を行い，提出された写しと照合します。

⑥ TOEIC のデジタル公式認定証については，必要に応じて，提出された印刷物の QR コードを読み取り，発行元の確認などを行います。

⑦ 提出されたスコア証明書は返却しません。

⑧ スコア証明書を出願期限までに提出できない特別な事情がある場合は，相談に応じることがありますので，出願期限前に４６ページ「１８．入学試験に関する問い合わせ先」までお問い合わせください。

６．出願手続及び出願期間等

（１）出願方法

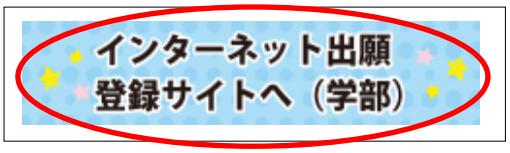
インターネットを利用して，①出願情報の登録，②主体性等申告の登録及び印刷【情報工学部のみ】，③顔写真データの登録，④入学検定料 17,000 円（別途，サービス利用料 900 円）の支払い，⑤出願登録内容の印刷（以下「インターネット出願登録」という。）を行ってください。

なお，インターネット出願登録の手順は，１２ページから記載のとおりです。

＜インターネット出願登録サイト＞

https://www.kyutech.ac.jp/examination/internet-application.html

インターネット出願ページの下部の「登録サイトへ（学部）」ボタンをクリック



※　本学が指定する自然災害により被災された志願者のうち，入学検定料の免除を希望する者は，必ず本学ホームページ(https://www.kyutech.ac.jp/information/disaster/taiou.html)を参照のうえ，インターネット出願登録の前に免除の申請を行ってください。

※　「②主体性等申告」は，インターネット上から「J-Bridge System（以下「JBS」という。）」を利用して登録します。【情報工学部のみ】

なお，インターネット出願登録を開始する前に登録内容を準備しておくことで，出願手続きを効率的に進めることができます。(例：登録内容をメモ帳等のテキストデータで端末に保存しておき，インターネット出願登録時に，コピー&ペースト（貼り付け）で入力する。)

また，JBS を利用した登録の手順を２６ページ及び本学ホームページ（https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-coming.html）に掲載しておりますので，参照してください。

※　インターネット出願登録後，３５ページ（３）の提出書類を郵送または持参することで，出願完了となります。３６ページ（５）の出願期間内に提出書類の郵送または持参がない場合，出願手続き未完了となり登録データは無効として取り扱いますので，注意してください。

※　入学検定料の支払い方法，インターネット出願登録に関するよくある質問など詳細については，上記＜インターネット出願登録サイト＞をご覧ください。

（２）インターネット出願登録

インターネット出願登録を始める場合は，インターネット出願登録サイトにアクセスし，ガイダンス画面（トップページ）上部にある 出願手続き ボタンをクリックして，画面の指示に従い，入力してください。

Step1 試験区分の選択

出願手続き ボタンをクリックして次へ進むと，Step1 の画面が表示されます。

受験する「試験区分」で「帰国生徒選抜」を選択して 次へ をクリックしてください。

Step2 志望学部等の選択

Step1 で選択した「試験区分」が表示されます。
必要事項を入力してください。

入力し終えたら，次へ をクリックしてください。
前の画面に戻る場合は，戻る をクリックしてください。

帰国生徒　情報工学部
志望類選択
第1志望
情報工学部 情工１類（情報，通信）
× 削除
情報工学部 情工２類（情報，機械，制御）
選択
適性検査における理科の領域を選択してください。
物理
化学
生物
情報工学部 情工３類（情報，電子，応用化学，生命科学，マテリアル）
選択
試験場
九州工業大学情報工学部（飯塚キャンパス）
英語資格・検定試験　※利用しない場合は選択せずに次へ進んでください。
試験名
選択してください
試験種別
選択してください
受験級
選択してください
スコア
（半角）
換算点
-
受験年度（英検）
2020
年度（半角）
受験回次（英検）
1
回（半角）
個人番号（英検）
1234567
（半角）
Test ID（GTEC CBT）
GT1234567
（半角）
※「GT」から始まる9桁の英数字
TEAP受験番号（TEAP）
12345678901
（半角）
戻る
次へ

Step3 個人情報の入力

個人情報等を入力します。入力し終えたら，次へ をクリックしてください。
前の画面に戻る場合は，戻る をクリックしてください。必須項目に入力漏れがある場合はエラーとなりますので，再入力してください。

★必須項目は試験区分によって異なりますので，画面の指示に従って，入力してください。

国内連絡先

氏名	必須	姓 九工大 名 一郎
志願者との続柄	必須	父 （全角）
郵便番号	必須	804 - 8550 （半角） 郵便番号から住所を表示する
都道府県	必須	福岡県 住所から郵便番号を表示する
市郡区	必須	北九州市戸畑区 （全角）
町番地	必須	仙水町１－１ （全角）
マンション・アパート名・号室		（全角）
電話番号 ※自宅電話番号、携帯電話番号どちらか必ず入力してください。（両方ある場合は両方入力してください。） ※確実に連絡のとれる番号を入力してください。	必須	自宅 093 - 884 - 3056 （半角） 携帯 080 - 1234 - 5678 （半角）

出願資格

※入力欄が足りない場合は、適当な別紙に記入して出願書類と共に送付してください。

初等教育Ⅰ（小学校等）	所在地・都市名	必須	福岡県北九州市
	学校名	必須	○○小学校
	在学期間	必須	6 年（半角）
	入学等年月	必須	年 月
	入学等区分	必須	選択してください
	卒業等年月	必須	年 月
	卒業等区分	必須	選択してください
前期中等教育Ⅰ（中学校等）	所在地・都市名	必須	中国○○○○
	学校名	必須	○○中学校
	在学期間	必須	3 年（半角）
	入学等年月	必須	年 月
	入学等区分	必須	選択してください
	卒業等年月	必須	年 月
	卒業等区分	必須	選択してください
後期中等教育Ⅰ（高等学校等）	所在地・都市名	必須	中国○○○○
	学校名	必須	○○高等学校
	在学期間	必須	3 年（半角）
	入学等年月	必須	年 月
	入学等区分	必須	選択してください
	卒業等年月	必須	年 月
	卒業等区分	必須	選択してください
外国の大学入学資格 ※GCE-Aレベル資格の科目数等に関する要件：GCE-Aレベル試験において１科目以上合格（E評価以上）	資格名		選択してください
	取得状況		選択してください
	取得年月		年 月

その他

大学生協への情報提供（任意）	九州工業大学生活協同組合の資料（教科書・教材のご案内・パソコンなど新生活準備等）を希望される方は、志願者の氏名/フリガナ/住所/電話番号/メールアドレス/受験番号/志望学部・類を九州工業大学生活協同組合へ情報提供しますので、保護者の方とご相談のうえ、下記のチェック欄を選択してください。 ☐ 資料送付を希望する

戻る　次へ

Step4 入力内容の確認

Step1～3 で入力したすべての内容の確認です。
ここまでに入力した内容を確認するための「志願内容確認票（検定料払込前）」を印刷できますので，必要に応じて保護者の方や学校の先生に確認してもらってください。内容を訂正する場合は 戻る をクリックして，訂正してください。登録内容に間違いがなければ， 次へ をクリックしてください。

【登録の中断と再開について】
ここまでに入力した内容は自動的に一時保存されています。保護者の方，学校の先生に確認を依頼する間，ブラウザを閉じてもここから入力を再開できます。再開には画面に表示されている受付番号及びセキュリティコードが必要になりますので，ブラウザを閉じる前に必ずメモを取ってください。

【登録の再開について】

再開する場合は，ガイダンス画面上部の ボタンをクリックしてください。申し込み確認画面で生年月日，受付番号及びセキュリティコードを入力してログインすると，申し込み一覧画面が表示されます。各種確認欄に表示されている「出願再開」ボタンをクリックすると，Step4（入力内容の確認画面）から入力を再開できます。

※　受付番号及びセキュリティコードは入力したメールアドレス宛にも送信されます。

【追加出願について】

他の試験区分にも出願（例：前期日程と後期日程を併願）する場合は，申し込み一覧画面下部の「追加出願」ボタンをクリックすると，個人情報（一部を除く）を再度入力することなく，追加出願を行うことが可能です。

追加出願する場合，それぞれ試験区分（登録データ）ごとに，「顔写真データの登録」，「入学検定料のお支払い」及び「提出書類の郵送または持参」が必要となります。なお，追加出願した登録データは，申し込み一覧画面に追加表示されます。

Step5 入学検定料のお支払い方法確認

事前に入学検定料のお支払い方法を確認のうえ，登録 をクリックしてください。お支払い手続きの内容は，次の画面で表示されます。

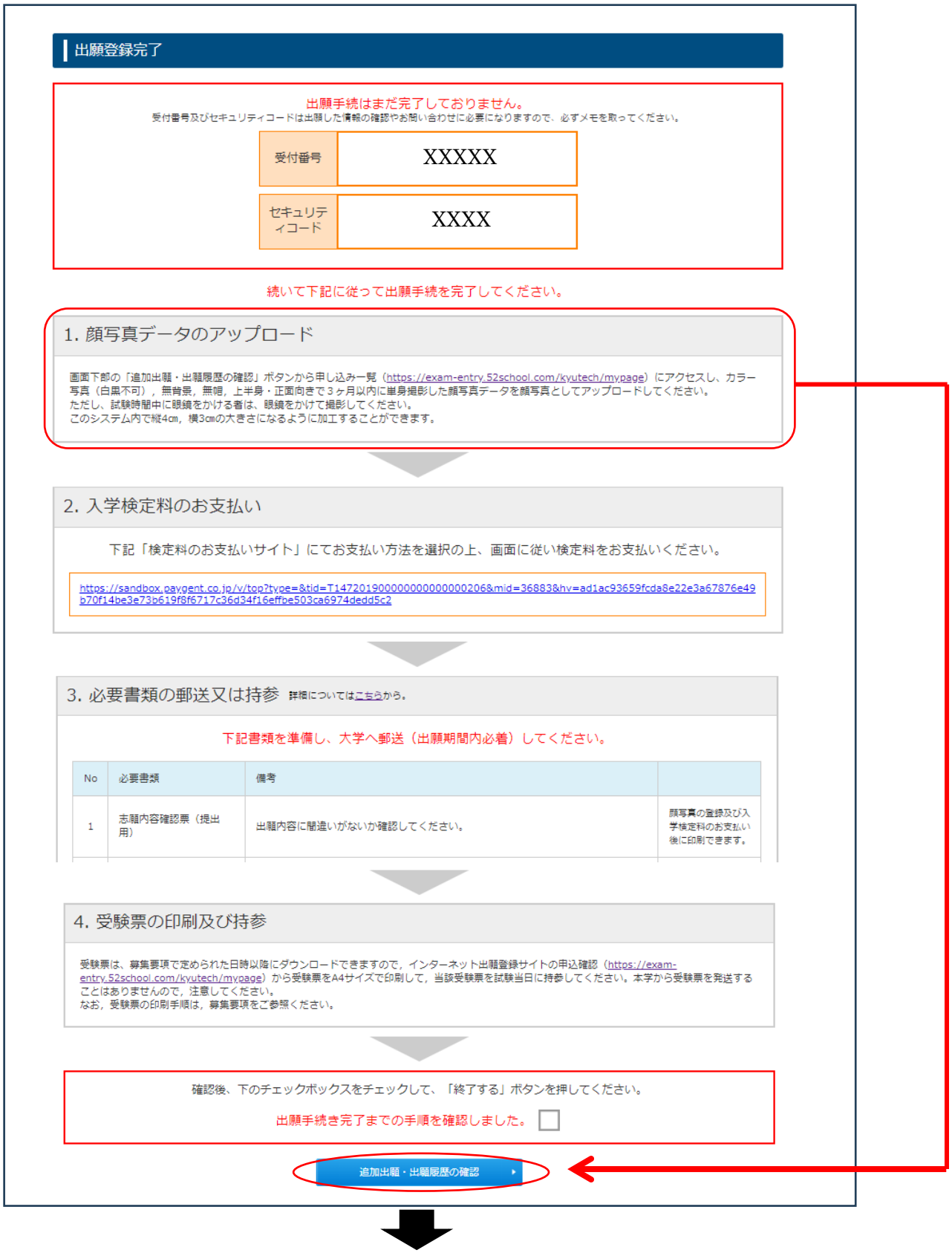
前の画面に戻る場合は，戻る をクリックしてください。

なお，登録 をクリックすると，今回登録されたデータの変更ができなくなりますので，注意してください。

Step6 顔写真データの登録

画面下部の「追加出願・出願履歴の確認」ボタンをクリックし，申し込み確認画面で生年月日，受付番号及びセキュリティコードを入力して，「次へ」をクリックしてください。

※　受付番号及びセキュリティコードは入力したメールアドレス宛にも送信されます。

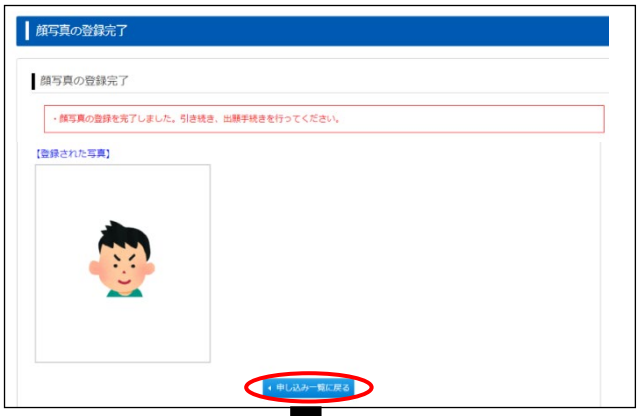


申し込み一覧画面が表示されますので，「写真アップロード」ボタンをクリックし，画面の指示に従って，顔写真データをアップロードしてください。

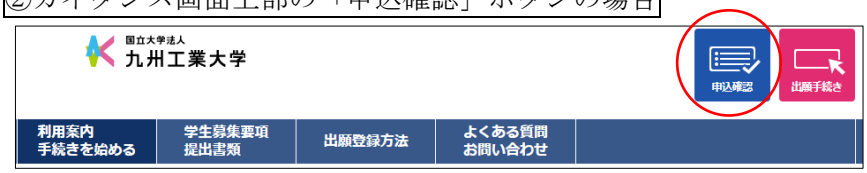
Step7　入学検定料のお支払い

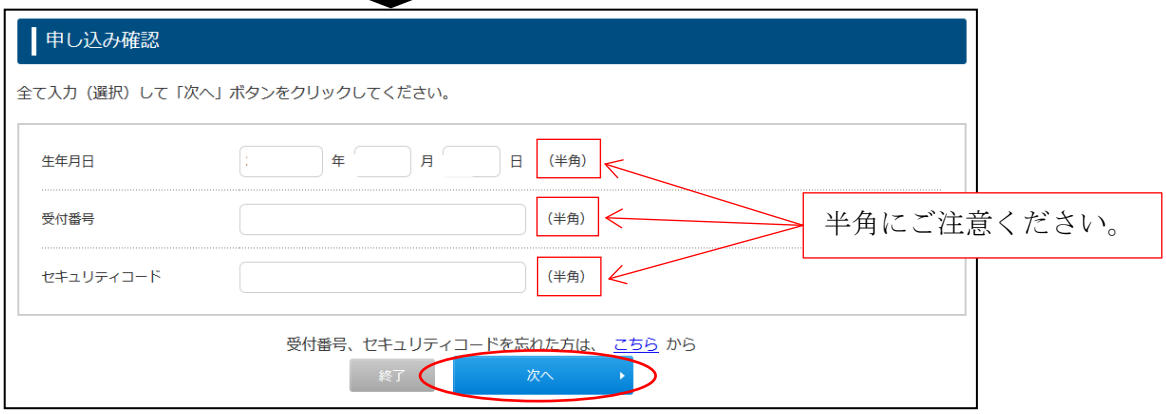
①顔写真の登録完了画面の「申し込み一覧に戻る」ボタンをクリック，または②ガイダンス画面上部の ボタンをクリックして，申し込み確認画面にログインし，各種確認欄の「検定料のお支払いサイトへ」ボタンをクリックして，次ページの「検定料支払い方法のご案内」及び画面の指示に従って，入学検定料をお支払いください。

①顔写真の登録完了画面の「申し込み一覧に戻る」ボタンの場合



②ガイダンス画面上部の「申込確認」ボタンの場合





検定料支払い方法の流れ（クレジットカード以外の場合）

■　コンビニエンスストア
https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/cvs/

■　銀行ＡＴＭ（ペイジー）
https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/atm_pay-easy/

■　ネットバンキング
https://www.paygent.co.jp/payment_service/way_to_pay/Internet_banking/

Step8　提出書類の印刷

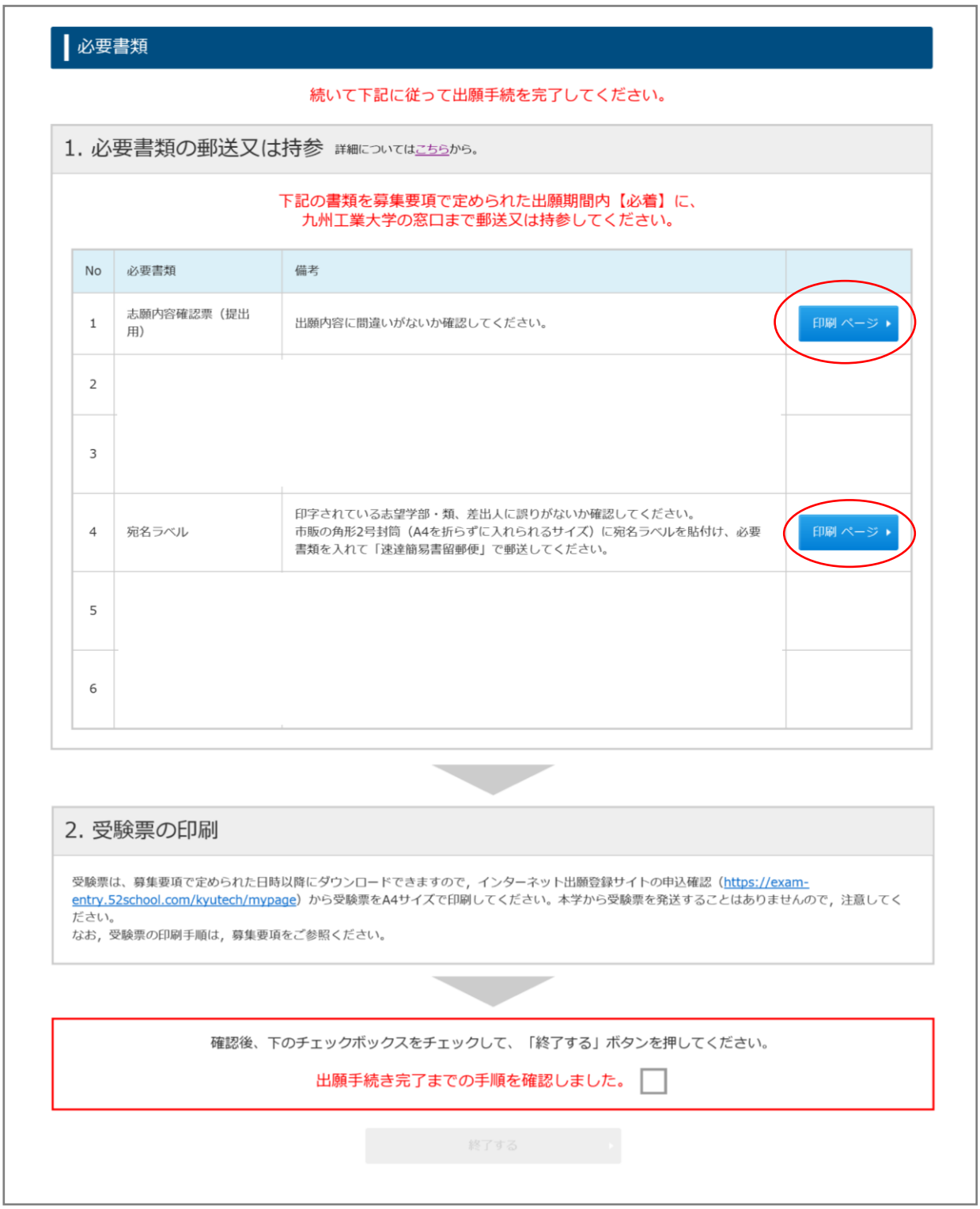
ガイダンス画面上部の ボタンをクリックして，申し込み確認画面にログインし，出願時に必要となる提出書類の一部（「志願内容確認票（提出用）」等）を印刷してください。

生年月日，受付番号及びセキュリティコードを入力してログインすると，申し込み一覧画面が表示されます。

※　受付番号及びセキュリティコードは入力したメールアドレス宛にも送信されます。

各種確認欄の「登録完了画面再表示」ボタンをクリックすると，必要書類の画面が表示されます。

「志願内容確認票（提出用）」，「宛名ラベル」の 印刷ページ ボタンをクリックし，印刷してください。
（試験区分によっては，印刷する書類が他にもありますので，同様に印刷してください。）
※　印刷はモノクロ・カラーどちらでも可
※　試験区分によって下記の画面表示は異なります



必要書類

続いて下記に従って出願手続を完了してください。

1. 必要書類の郵送又は持参　詳細についてはこちらから。

下記の書類を募集要項で定められた出願期間内【必着】に、
九州工業大学の窓口まで郵送又は持参してください。

No	必要書類	備考	
1	志願内容確認票（提出用）	出願内容に間違いがないか確認してください。	印刷 ページ
2			
3			
4	宛名ラベル	印字されている志望学部・類、差出人に誤りがないか確認してください。 市販の角形2号封筒（A4を折らずに入れられるサイズ）に宛名ラベルを貼付け、必要書類を入れて「速達簡易書留郵便」で郵送してください。	印刷 ページ
5			
6			

2. 受験票の印刷

受験票は、募集要項で定められた日時以降にダウンロードできますので，インターネット出願登録サイトの申込確認（https://exam-entry.52school.com/kyutech/mypage）から受験票をA4サイズで印刷してください。本学から受験票を発送することはありませんので，注意してください。
なお，受験票の印刷手順は，募集要項をご参照ください。

確認後、下のチェックボックスをチェックして、「終了する」ボタンを押してください。

出願手続き完了までの手順を確認しました。

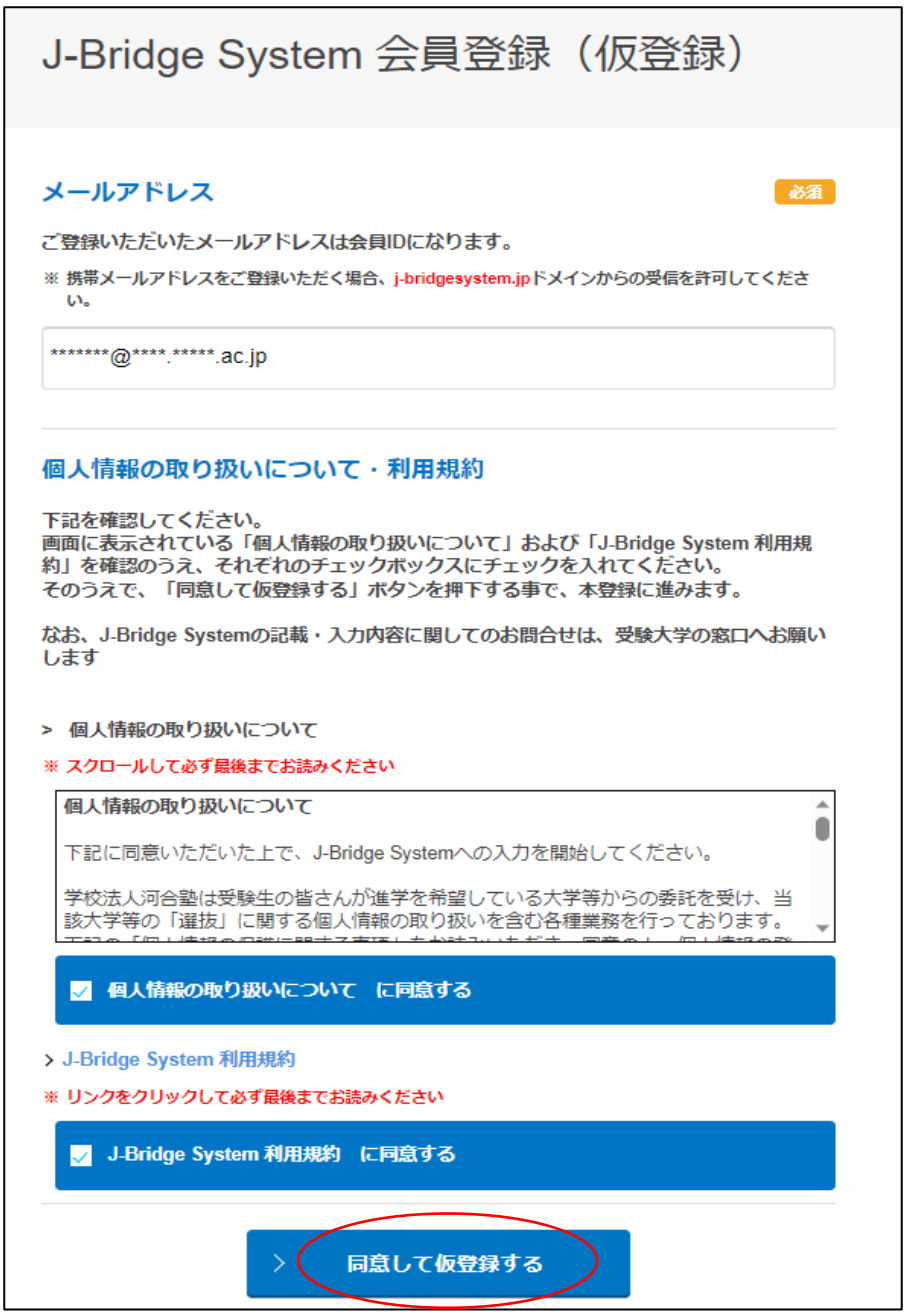
終了する

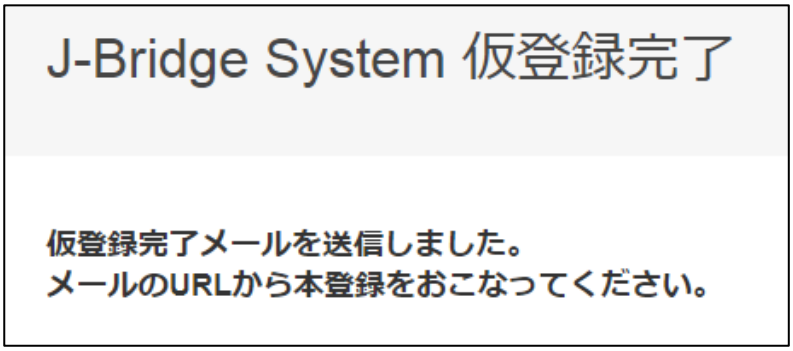
主体性等申告の登録及び印刷　※情報工学部のみ

Step5「入学検定料のお支払い方法確認」の後の画面で表示される「J-Bridge System へ評価項目を入力する」ボタンを押してください。

「新規会員登録」ボタンをクリックしてください。
なお，「J-Bridge System」に会員登録済みの場合は，「ログイン画面へ」ボタンを押してください。

画面の指示に従い、会員登録を行ってください。





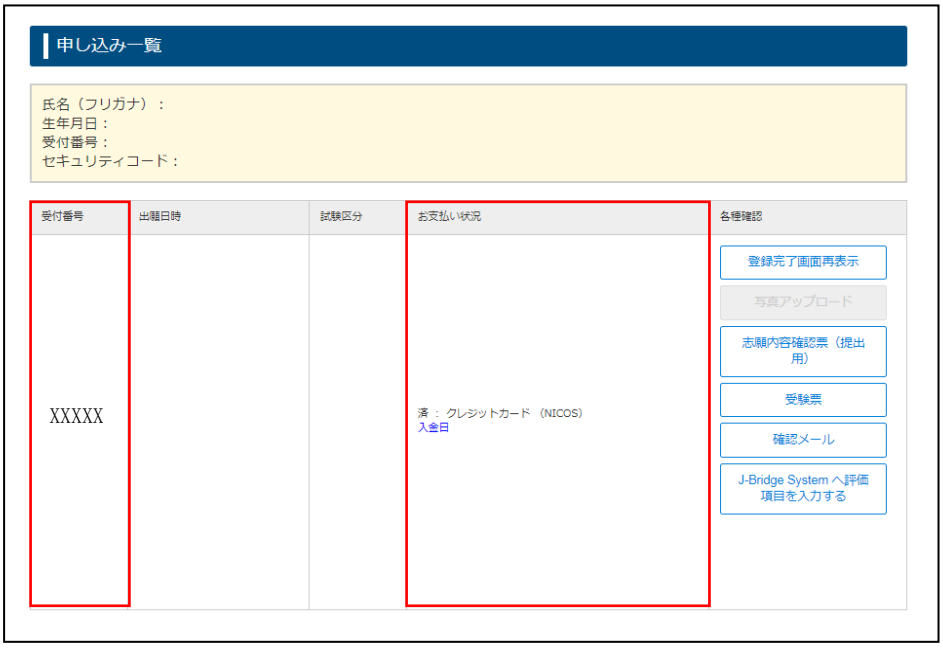
登録されたメールアドレスに記載の URL にアクセスして，パスワードを設定してください。
※　登録されたメールアドレス（ID）とパスワードは，再度「J-Bridge System」にログインする場合に必要となりますので，必ずメモを取っておいてください。

インターネット出願登録時に発行された「受付番号」を入力し，「出願を登録する」ボタンを押してください。
※「受付番号」が不明な場合は，インターネット出願登録時に配信されたメールを確認してください。

活動内容を登録するトップページの画面において，「九州工業大学/帰国生徒選抜/情報工学部・類/（インターネット出願登録時の受付番号）」を押してください。

※　本学で複数回登録したり他大学で登録したことがある場合は当該内容も表示されますので，必ず「志望大学・学部・類，インターネット出願登録時の受付番号（入学検定料を支払って提出するもの）」の表示内容を確認のうえ，出願登録を行う内容を選択してください。
　なお，選択ミスがないよう，入学検定料を支払った後に，「入学検定料の支払い状況」を確認のうえ，活動内容を登録することも可能です。（「入学検定料の支払い状況」は，この画面のほか，インターネット出願登録の「申し込み一覧画面」にて，「受付番号」と「お支払い状況」を確認することが可能です。）

＜インターネット出願登録の申し込み一覧画面（「受付番号」と「お支払い状況」の確認）＞



「申請を開始する」ボタンを押して，活動内容を登録（入力）してください。
※　該当する活動内容がない場合，「該当なし」などの登録（入力）は不要です。

＜画面の例＞

入力にあたっての注意事項等

設問内容（以下参照）をよく読んだうえで，活動内容を登録（入力）し，「保存して申請項目一覧へ戻る」または「保存して回答内容を確認する」ボタンを押してください。

主体性等申告の設問内容

【主体性】

高校入学後に取り組んだ活動のうち，主体性・多様性・協働性の要素を持つ活動に関して，【主体性（主体的に取り組んだ活動）】の要素について 300 字以内にまとめて入力してください。取り組んだ活動は，入力する３つの要素で同じものでも異なるものでも構いません。

入力の際には，①活動内容，②活動において，その要素をどのように発揮したり身につけたりしたか，③それを本学入学後にどのように生かすことができるか，がわかるようにしてください。

【多様性】

高校入学後に取り組んだ活動のうち，主体性・多様性・協働性の要素を持つ活動に関して，【多様性（多様な人々と取り組んだ活動）】の要素について 300 字以内にまとめて入力してください。取り組んだ活動は，入力する３つの要素で同じものでも異なるものでも構いません。

入力の際には，①活動内容，②活動において，その要素をどのように発揮したり身につけたりしたか，③それを本学入学後にどのように生かすことができるか，がわかるようにしてください。

【協働性】

高校入学後に取り組んだ活動のうち，主体性・多様性・協働性の要素を持つ活動に関して，【協働性（他者と協働して取り組んだ活動）】の要素について 300 字以内にまとめて入力してください。取り組んだ活動は，入力する３つの要素で同じものでも異なるものでも構いません。

入力の際には，①活動内容，②活動において，その要素をどのように発揮したり身につけたりしたか，③それを本学入学後にどのように生かすことができるか，がわかるようにしてください。

「主体性等申告」登録内容の評価では，主に以下の点に着目します。

【主体性】

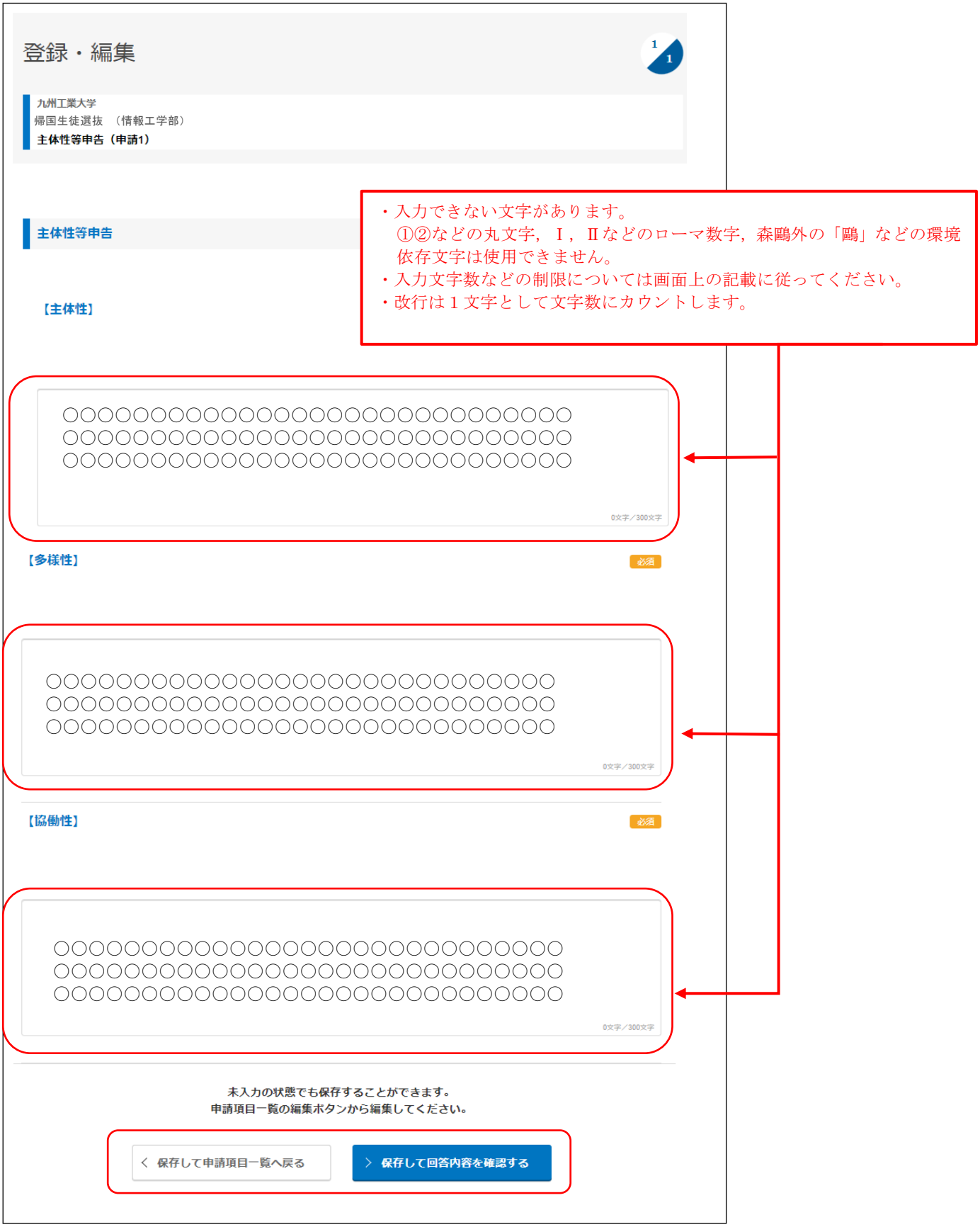
その活動に主体性を持って関わり，得られた知見等を今後につなげようとする姿勢があるか

【多様性】

他者の持つ多様な意見に触れられるような活動となっており，得られた知見等を今後につなげようとする姿勢があるか

【協働性】

活動の目的達成に対する自身や他者の役割・貢献を客観的に評価し，得られた知見等を今後につなげようとする姿勢があるか

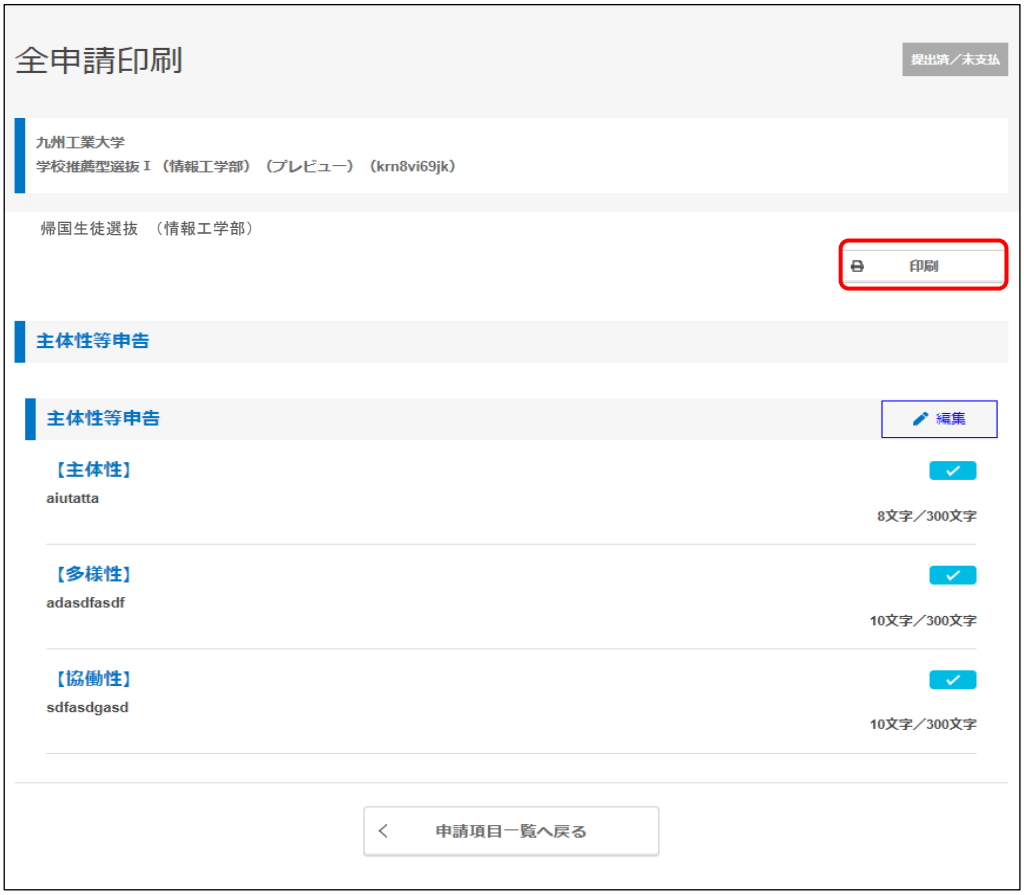

登録・編集
九州工業大学
帰国生徒選抜　（情報工学部）
主体性等申告（申請1）
・入力できない文字があります。
①②などの丸文字，Ⅰ，Ⅱなどのローマ数字，森鷗外の「鷗」などの環境依存文字は使用できません。
・入力文字数などの制限については画面上の記載に従ってください。
・改行は１文字として文字数にカウントします。
主体性等申告
【主体性】
0文字／300文字
【多様性】
必須
0文字／300文字
【協働性】
必須
0文字／300文字
未入力の状態でも保存することができます。
申請項目一覧の編集ボタンから編集してください。
保存して申請項目一覧へ戻る
保存して回答内容を確認する

登録（入力）完了後，活動実績の申請項目一覧画面の「参照」ボタンを押すと，登録（入力）した活動内容が表示されますので，登録（入力）した活動内容に問題がないことを必ず確認のうえ，「提出手続きへ」ボタンを押してください。

なお，登録（入力）した活動内容を変更する場合は，「編集・削除」ボタンを押してください。

登録（入力）した活動内容に問題がないことを確認したら，「提出する」ボタンを押してください。
なお，「提出する」ボタンを押すと，登録（入力）した活動内容の変更ができなくなりますので，注意してください。

「印刷」ボタンを押して印刷し，出願書類とともに提出してください。



（３）提出書類

インターネット出願登録完了後，次の書類等を整え提出してください。出願資格によって提出する書類が異なりますので注意してください。

なお，証明書等は，いずれも学校長・機関の長が作成したものとします。また，日本語・英語以外で作成されているものは，必ず日本語訳を添付してください。

区分	書類名称	備考
インターネット出願登録内容の印刷物	ア．志願内容確認票（提出用）	インターネット出願登録後，印刷したもの。（印刷の手順は２４ページから記載のとおりです）
	イ．宛名ラベル【郵送の場合のみ】	提出書類を郵送する場合は，インターネット出願登録後，印刷したものを，市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）に貼り付けてください。（持参の場合は印刷・貼付けは不要です。印刷の手順は２４ページから記載のとおりです）
	ウ．主体性等申告【情報工学部のみ】	高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動に関する内容を「JBS」に登録し，印刷したものを提出してください。
その他必要書類	エ．身上書	本学所定の様式に志願者本人が記入したもの。様式は下記の「本学ホームページ」及び「出願登録の完了画面」のいずれかからダウンロードしてください。 ○帰国生徒選抜 https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-coming.html
	オ．主体性等申告書【工学部のみ】	本学所定の様式に高校入学後に取り組んだ主体性・多様性・協働性を持つ活動に関する内容を志願者本人が記入したものを提出してください。 様式は下記の「本学ホームページ」または「出願登録の完了画面」のいずれかからダウンロードしてください。 ○帰国生徒選抜 https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-coming.html
	カ．国籍等を証明する書類	住民票の写し（市区町村発行のもの。コピー不可），パスポート（名前，国籍，顔写真が分かるページ）の写し，在留資格認定証明書（査証手続の済んだもの）の写し，または在留カードの両面写し
	キ．出願資格を証明する書類	**出願資格（１）に該当する者** ・卒業（修了）証明書または同見込証明書 ・最終卒業（修了）学校の成績証明書 ※日本の高等学校等に在学したことがある場合は，在学した学校長が作成した所定の調査書をあわせて提出してください。
		出願資格（２）に該当する者 ・日本の高等学校等及び外国の高等学校に相当する課程の成績証明書 ・日本の高等学校等の学校長が作成した所定の調査書 ・外国において学校教育を受けた期間の証明書
		出願資格（３）に該当する者 ・国際バカロレア資格証明書（International Baccalaureate Diploma）の写し ・ＩＢ（International Baccalaureate）最終試験６科目の成績評価証明書
		出願資格（４）に該当する者 一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し
		出願資格（５）に該当する者 バカロレア資格証明書（Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré）の写し
		出願資格（６）に該当する者 GCE-A レベル資格成績評価証明書の写し
	ク．英語資格・検定試験のスコア証明書等【※利用者のみ】	９ページに記載している英語資格・検定試験のスコアを利用する志願者は，利用する英語資格・検定試験の名称，スコア等の情報をインターネット出願登録時に入力した上で，当該スコアについて本学が指定する公式な証明書（１０ページ参照）を提出してください。なお，利用できる英語資格・検定試験のスコアは１つのみとなります。その他，詳細は９ページ以降を確認してください。

※　上記以外の書類は，提出しないでください。（ただし，本学が個別に指定した場合を除く。）

なお，「顔写真データ」はインターネット出願登録のみ必要です。

区分	名称	備考
インターネット出願登録	顔写真データ 【※郵送または持参による提出は不要】	次の条件を満たす顔写真データを，インターネット出願登録時にアップロードしてください。 ・カラー（白黒不可），無背景，無帽，上半身・単身正面向きで３ヶ月以内に撮影したもの ・形式は JPEG/PNG のいずれか ・ファイルサイズは 100KB 以上 5MB 以下

（４）提出方法

市販の角形２号封筒（240mm×332mm）に，インターネット出願登録完了後に印刷した宛名ラベルを貼り付け，提出書類を入れて，「速達簡易書留郵便」にて郵送してください。その際に郵便窓口で受け取る「受領証」は試験終了まで大切に保管してください。

ただし，海外から郵送する場合には，必ず「EMS（国際スピード郵便）」を利用し，封筒の表には「入学願書（APPLICATION DOCUMENTS）」と朱書してください。

なお，提出書類が出願期間内に本学へ到着しない可能性がある場合は，下記「（６）提出先」まで持参による提出も可能です。（１１月８日（水）１７時まで）この場合，宛名ラベルの印刷・貼付けは不要です。また，受付時間は９時から１７時まで（土・日・祝日を除く。）です。

（５）出願期間

出願期間（提出書類受付期間）は，次のとおりです。

令和５年１１月１日（水）～１１月８日（水）１７時必着

※　ただし，インターネット出願登録は，令和５年１０月２５日（水）９時から開始することが可能です。

なお，インターネット出願登録だけでは，出願手続は完了しません。（出願期間内に提出書類を郵送または持参することで完了します。）

（６）提出先

工　学　部	九州工業大学（戸畑キャンパス） 大学院工学研究院事務課教務係 〒804-8550　福岡県北九州市戸畑区仙水町１番１号 電話　093-884-3332
情報工学部	九州工業大学（飯塚キャンパス） 大学院情報工学研究院教務学生支援課教務係 〒820-8502　福岡県飯塚市川津６８０番４ 電話　0948-29-7519

７．出願上の注意事項

（１）提出書類に不備がある場合は，出願を受理できないことがあります。

（２）受理した提出書類は，いかなる理由があっても返却できません。

（３）既納の入学検定料は，次のいずれかに該当する場合を除き，いかなる理由があっても返還できません。下記のアからエのいずれかに該当する場合は，４６ページ「１８．入学試験に関する問い合わせ先」へ連絡後，本学が指定する返還金請求書等をご提出いただくことで入学検定料を返還します。

ア　提出書類を郵送または持参しなかった場合

※　インターネット出願登録だけでは，出願手続きは完了しません。（出願期間内に提出書類を郵送または持参することで完了します。）

イ　提出書類の不備により出願が受理されなかった場合

ウ　本学が指定する自然災害の被災者で，入学検定料免除の手続きを行った場合

○入学検定料の免除について
https://www.kyutech.ac.jp/information/disaster/taiou.html

エ　誤って二重に支払った場合

（４）提出書類に虚偽の記載が認められた者は，合格発表後でも合格を取り消すことがあります。

（５）志願者は，２学部（工学部，情報工学部）のうち，１学部のみ志願できます。

（６）入学検定料を支払い，提出書類を郵送または持参した後は，提出書類の変更はできません。提出書類のうち，「志願内容確認票（提出用）」については，入学検定料のお支払い方法確認画面の「登録」ボタンを押す前であれば，インターネット出願登録サイトにて，志願者自身で変更できます。また，「登録」ボタンを押した後でも，入学検定料を支払う前であれば，再度出願登録を行うことで，変更できます。なお，入学検定料を支払った後で，提出書類を郵送または持参する前に変更を希望する場合は，インターネット出願登録後に印刷した「志願内容確認票（提出用）」のチェック欄を確認してください。

（７）出願後に住所等を変更した場合は，速やかに４６ページ「１８．入学試験に関する問い合わせ先」へ連絡してください。

（８）障がい等を有する志願者は，３８ページの「８．障がい等を有する入学志願者の配慮に関する事前相談」を参照のうえ，必要に応じて出願の前に必ず申し出てください。

８．障がい等を有する入学志願者の配慮に関する事前相談

障がい（下表参照）等があり，受験及び修学上の配慮を必要とする場合は，出願前に，下記（３）の連絡先まで配慮に関する事前相談をしてください。

特に，体幹及び両上下肢の機能障がいが著しく代筆解答を希望する者は，できるだけ早い時期にご相談ください。

区　　分	障　　害　　の　　程　　度
視覚障がいのある者 （強度の弱視者を含む。）	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のものまたは視力以外の視機能障がいが高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度のもの
聴覚障がいのある者 （強度の難聴者を含む。）	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能または著しく困難な程度のもの
肢体が不自由な者	１．肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能または困難な程度のもの ２．肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱な者 （身体虚弱者を含む。）	１．慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもの ２．身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

※　学校教育法施行令第２２条の３の規定に準拠

（注）上記に該当しない場合でも，日常生活において使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験を希望する場合も，試験場設定などの対応の関係から必ず申し出てください。

※　事前相談は障がいのある者等に本学で可能な対応についてあらかじめ双方で確認することで，受験及び修学にあたりより良い方法等を実現するために行うもので，障がいのある者等の受験や修学を制限するものではありません。

（１）配慮に関する事前相談の期限

令和５年１０月６日（金）まで

※　上記の期限後に受験及び修学上の配慮が必要となった場合にも下記（３）の連絡先に必ずご相談ください。

※　相談の内容や時期によっては，本学の試験日までに対応できず，受験上の配慮が講じられないこともありますので，できるだけ早い時期に申し出てください。

（２）配慮に関する事前相談の方法

下記（３）に連絡して事前相談申請書を請求し，必要事項を記入の上，診断書等を添付して送付してください。必要な場合は，本学において，志願者自身またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

（３）配慮に関する事前相談に関する連絡先及び送付先

〒804-8550　福岡県北九州市戸畑区仙水町１番１号（戸畑キャンパス）
九州工業大学入試課入試係
電話　093-884-3056

（４）過去の帰国生徒選抜における受験上の配慮の受入れ・対応実績

帰国生徒選抜では，過去に障がい等を有する入学志願者からの事前相談の実績がないため，受験上の配慮の受入れ・対応実績はありません。

※　下記 Web サイトより，障がいを持つ入学希望者向けの入学前相談を申し込むことができます。ただし，この事前相談を利用した場合も必ず上記（１）～（３）の手続きを行ってください。

○障がい学生入学前相談
https://sog-sien.jimu.kyutech.ac.jp/nyugakumae/index.html

９．受験票

令和５年１１月２１日（火）１７時以降に受験票をダウンロードできますので，インターネット出願登録サイトの「申込確認」画面から受験票を A4 サイズで印刷して，試験当日に持参してください。本学から受験票を発送することはありませんので，注意してください。

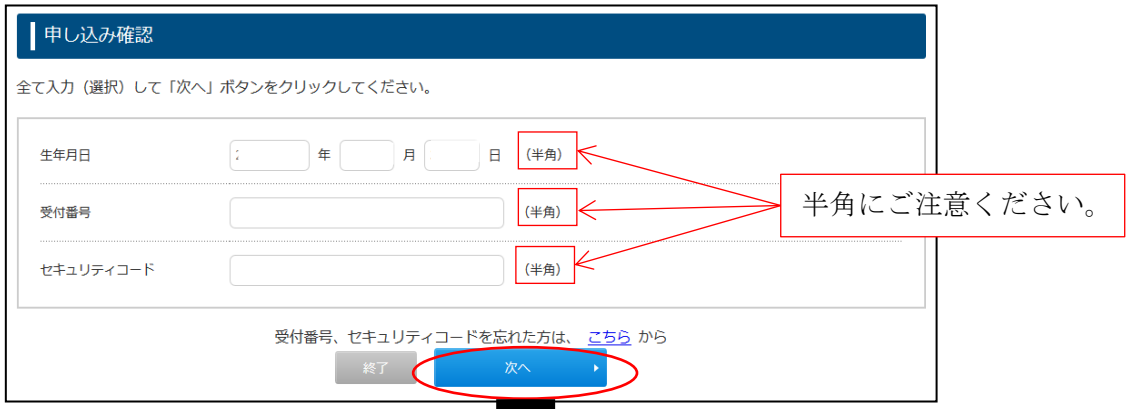
なお，受験票の印刷手順は，以下のとおりです。

（１）ガイダンス画面上部の

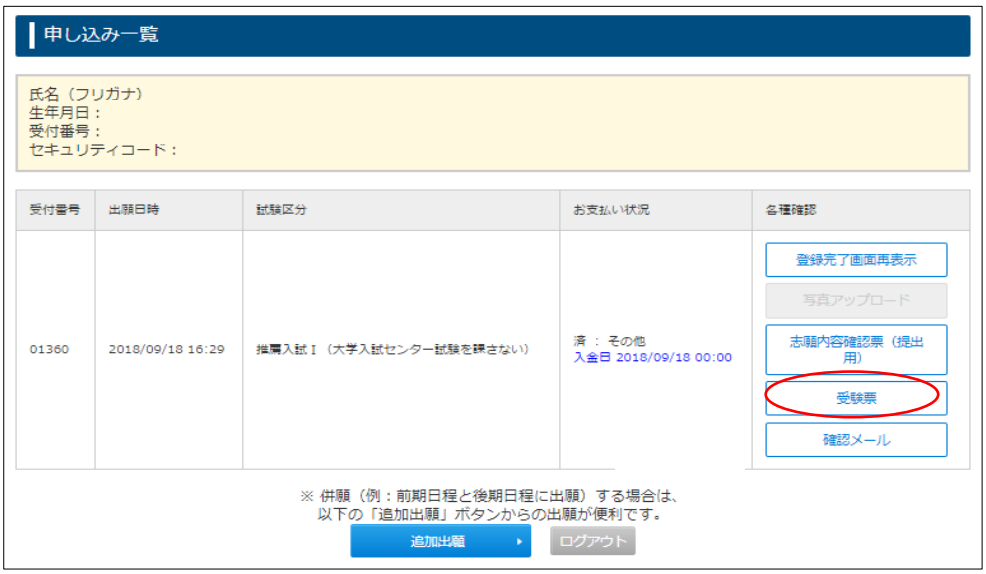
ボタンをクリックすると，申し込み確認画面が表示されます。

（２）生年月日，受付番号及びセキュリティコードを入力してログインすると，申し込み一覧画面が表示されます。

※　受付番号及びセキュリティコードは入力したメールアドレス宛にも送信されます。



（３）各種確認欄の「受験票」ボタンをクリックすると，受験票が表示されますので，A4 サイズで印刷してください。



※　試験日等が記載されていることを必ず確認のうえ，当該受験票を試験当日に持参してください。

※　入学試験成績等の開示請求（詳細は，４５ページ「１６．入学試験成績等の開示」を参照してください。）を行う場合は，受験票が必要となりますので，ダウンロードした受験票は合格発表後も大切に保管しておいてください。

（受験票は令和６年４月以降，ダウンロードできなくなります。）

１０．受験上の注意事項

（１）受験の際には，「本学の受験票」を必ず持参してください。
なお，試験当日，「本学の受験票」を紛失または忘れた場合は，係員まで申し出てください。

（２）必ず指定された試験日の集合時間に，指定された試験場の集合場所まで集合してください。
１０分以上の遅刻者は試験を受けられなくなる場合があります。

（３）試験時間中は，係員の指示または許可がない限り，退室することはできません。試験の途中で退室した者（係員が指示または許可した場合を除く。）は，欠席者として取り扱います。

（４）すべての試験を受験しなければ，合否判定の対象とはなりません。

（５）工学部の「適性検査 CBT（英語）」及び情報工学部の「適性検査 CBT（英語・数学・理科）」では，タブレット端末を受験者に各１台配付し，タブレット端末の問題を読んで，タブレット端末で解答します。（各学部ともメモ用紙を配付し，適性検査 CBT 終了時に回収します。）
タブレットを用いた「適性検査 CBT」の実施方法は次のとおりです。
※試験は，冒頭でタブレット端末の操作説明及び動作確認を行った後，解答を始めます。
※英語の解答時間は２０分，情報工学部における数学及び理科の解答時間は合わせて４０分です。

（６）「適性検査 CBT」の試験時間中，筆記用具以外で机の上に置けるものは，「鉛筆キャップ」，「鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）」，「時計（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）」です。

（７）試験時間中に日常的な生活騒音等（係員の巡視による足音・業務上必要な打合せなど，航空機・自動車・風雨・空調の音など，周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など，携帯電話や時計等の短時間の鳴動，照明の点滅，周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。

（８）自家用車を利用して送迎を行う場合は，学内（飯塚キャンパスのみ）の所定の駐車場または学外の有料駐車場内で乗降を行ってください。事故防止のため，正門等付近における路上での乗降は避けてください。
また，受験者以外（保護者，引率教員等）の試験場への立ち入りを禁止します。ただし，試験場内まで受験者に付き添う必要（特別な事情）がある場合は，事前に４６ページ「１８．入学試験に関する問い合わせ先」まで相談してください。
なお，飯塚キャンパスへの送迎は，所定の駐車場までの立ち入りに限り，事前相談は不要です。

（９）試験当日において，学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ，麻しん，水痘，新型コロナウイルス感染症等）に罹患して治癒していない場合は，他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。
また，受験できない場合の追試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので，万全の態勢で試験当日を迎えられるよう，体調管理には十分注意してください。
なお，上記の内容に変更が生じた場合は，速やかに本学ホームページ（https://www.kyutech.ac.jp/examination/）にてお知らせします。

※入試に関する重要なお知らせ

１１．不正行為

（１）適性検査及び個人面接の試験中に，カンニング[注1]をすること，４０ページ「１０．受験上の注意事項」の（６）に記載の筆記用具及び机の上に置けるもの以外で許可していない用具[注2]を使用すること，係員の指示に従わないこと，迷惑行為などは不正行為となります。不正行為を行った場合は，直ちに受験を中止させ，退出を命じます。この場合，当該受験は無効とし，不正行為の内容によっては警察へ被害届を提出する場合があります。

（注１）あらかじめ試験開始前に用意した試験に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること，教科書，参考書，辞書等の書籍類の内容を見ること，他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど。

（注２）定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具及び携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，タブレット端末，電子辞書，IC レコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類など（※本学が配付するタブレット端末を除きます。また，イヤホンについては装着していれば使用しているものとして不正行為となります。）

（２）適性検査の試験終了後から個人面接の試験開始までの間に，電子機器類[注3]を使用すること，係員の指示に従わないこと，迷惑行為などは不正行為となります。不正行為を行った場合は，直ちに退出を命じます。この場合，当該受験は無効とし，不正行為の内容によっては警察へ被害届を提出する場合があります。

（注３）携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，タブレット端末，電子辞書，IC レコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等（※イヤホンについては装着していれば使用しているものとして不正行為となります。）

１２．合格発表

日時：令和５年１２月８日（金）　１６時

本学ホームページ（https://www.kyutech.ac.jp）に合格者の受験番号を掲載し，合格者に「合格通知書」等を郵送します。
なお，電話等による合否の問い合わせには応じられません。

（注）合格通知書等の氏名について，コンピュータで表記できない文字は置き換えられるか，カタカナ等で表記されますので，ご了承ください。
（例）吉 → 吉　　廣 → 廣　　角 → 角

１３．入学手続

合格者には，合格通知書送付時に入学手続書類を同封しますので，令和５年１２月２１日（木）１６時３０分【必着】までに，下記（１）の提出先に「速達簡易書留郵便」または「レターパック」にて郵送してください。

（１）提出先

学部	提出先
工　学　部	九州工業大学（戸畑キャンパス） 大学院工学研究院事務課教務係 〒804-8550　福岡県北九州市戸畑区仙水町１番１号 電話　093-884-3332
情報工学部	九州工業大学（飯塚キャンパス） 大学院情報工学研究院教務学生支援課教務係 〒820-8502　福岡県飯塚市川津６８０番４ 電話　0948-29-7519

（２）留意事項

期間内に手続を行わない場合は，入学を辞退したものとして取り扱います。

１４．入学手続時の納付金

・入学料　282,000 円（予定額）
・諸納金（後援会費，責善会費，明専会費，学生教育研究災害傷害保険料）
　　82,300 円（予定額）

（１）既納の入学料は，次のいずれかに該当する場合を除き，いかなる理由があっても返還できません。
　ア　入学手続をしなかった場合
　イ　誤って二重に支払った場合

（２）入学手続を完了した者が，令和６年３月２９日（金）の１７時までに入学を辞退した場合には，申し出により既納の諸納金相当額を返還します。ただし，既納の入学料はいかなる理由があっても返還できません。

（３）授業料〔前期分・後期分とも各 267,900 円（予定額）〕の支払いは，入学手続時に申請していただく銀行口座から「振替による自動引落」にて行います。
（前期は令和６年４月，後期は令和６年１０月の予定）

（４）授業料等の改定が行われた場合には，改定時から新授業料等が適用されます。

（５）令和２年度から「高等教育の修学支援制度」が始まり，本学もこの制度の対象機関として認定を受けています。
　本制度による支援を希望する場合は，審査結果が出るまでの期間，入学料及び授業料の納付は猶予されます。詳細については，合格通知書に同封の入学手続書類でお知らせします。

◆高等教育の修学支援制度

この制度は，意欲ある子どもたちの進学を支援するため，入学料及び授業料の免除と，返還を要しない給付奨学金を支給するもので，大学等における修学の支援に関する法律に基づき実施されるもので，本学では，この制度が適用されます。

応募資格等制度の詳細は，文部科学省高等教育の修学支援制度ホームページ及び日本学生支援機構給付奨学金ホームページをご確認ください。

○文部科学省ホームページ
https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm

○日本学生支援機構ホームページ（給付奨学金）
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html

◆奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金には，上記「高等教育の修学支援制度」による給付奨学金の他に，貸与奨学金があり，学力や家計状況等により選考が行われます。

応募資格や貸与月額等の詳細は，日本学生支援機構ホームページをご確認ください。

○日本学生支援機構ホームページ（貸与奨学金）
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/index.html

なお，日本学生支援機構の奨学金の他に，地方公共団体などの奨学金もあります。
本学において実績のある奨学事業団体は，本学公式ホームページをご確認ください。

○九州工業大学ホームページ（各種奨学金）
https://www.kyutech.ac.jp/campuslife/scholarship.html#03

高等教育の修学支援制度による入学料・授業料免除制度，奨学金制度等に関する問合せ先
担当窓口：学生生活・健康支援課学生生活支援係　電話 093-884-3050

１５．合格者に対する入学前教育

（１）両学部共通の入学前教育

アドミッションオフィスでは，帰国生徒選抜の合格者に対して，合格発表から入学までの間に，大学の授業を理解するために必要な基礎学力を身に付けるとともに，大学における学修意欲を高めてもらうために，入学前教育として，通信教育プログラムを実施します。

①実施内容

・通信教育プログラム

本学が指定する通信教育プログラムを利用して自宅学習を進めてもらい，学力の維持・向上を図ることを目的としています。

②費用等

通信教育プログラムの教材費は大学で負担します。ただし，受講のための通信費については，各自で負担をお願いします。

（２）工学部の入学前プログラム

工学部では，帰国生徒選抜の合格者に対して，合格発表から入学までの間に，できる限り多くの学習の機会を提供し大学における学修意欲を高めてもらうために，入学前教育として，合格者ガイダンスおよび類別のプログラムを実施します。

①実施内容

１２月中旬以降にオンラインにて実施します。

大学での教育内容を説明して，大学入学に向けた準備をしてもらうことを目的としています。

②費用等

参加のための通信費については，各自で負担をお願いします。

（３）情報工学部の入学前研修会

情報工学部では，入学後に有意義な大学生活を送ることができるように，帰国生徒選抜合格者に対して，大学の授業を理解するために必要な基礎学力を身に付けることを目的とした学部独自の通信教育プログラムの提供および入学前研修会を実施します。

①実施時期・場所

学部独自の通信教育プログラムについては，合格発表後に受講に関する詳細をお知らせします。研修会については，まず１２月中旬にオンラインにて事前説明会を実施します。その後，３月初旬に，福岡県内の宿泊施設を利用して宿泊をともなう研修会を実施する予定ですが，その頃の状況次第では３月の研修についても通信教育プログラムによる研修で行うことがあります。いずれも，高等学校等の授業にできるだけ差し支えのないように実施する予定です。

②実施内容

研修会では数学，物理，英語の高等学校レベルの内容についての講義を行い，また，大学での学び方や大学生活に関するガイダンスも実施します。

③費用等

参加のための通信費については，各自で負担をお願いします。研修会にかかる宿泊費，食事代，教材費等は大学で負担します。研修会の会場までの交通費については各自負担をお願いしますが，遠方からの参加者については，一部を大学で補助します。

１６．入学試験成績等の開示

令和６年度帰国生徒選抜に係る受験者の個人成績等を，下記のとおり開示します。

区分	内容・方法等
（１）開示対象	入学試験成績
（２）開示内容	合格者，不合格者を問わず，総得点及び募集単位の合格者最低点を開示します。
（３）申込期間	令和６年５月１日（水）から令和６年５月３１日（金）まで ただし，土・日・祝日は除きます。
（４）請 求 者	受験者本人に限ります。（代理人による申し込みは認められません。）
（５）申込方法	本学所定の申込様式を，本学ホームページ（https://www.kyutech.ac.jp/examination/，令和６年４月下旬掲載予定）で入手し，九州工業大学受験票及び受験者本人の郵便番号，住所，氏名を明記し４０４円分の切手を貼った返信用封筒（長形３号 120 ㎜×235 ㎜）を添付のうえ，郵送で申し込んでください。令和６年５月３１日（金）１７時までに，到着したものに限り受理します。 〇入試に関する重要なお知らせ
（６）開示方法	受付から約２０日以内に，受験者本人へ簡易書留郵便で郵送します。
（７）そ の 他	令和５年度以前の入学者選抜に係る個人成績は開示しません。

※　入試成績等情報の開示に関する詳細については，入試課入試係（電話：093-884-3056）に問い合わせてください。

１７．個人情報の取扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報および入学手続時に提出していただく書類に記載されているすべての個人情報は，本学における次の業務に利用します。

（１）入学者選抜および入学手続に関する業務。
（２）教務関係（学籍管理，修学指導および教育課程の改善等）に関する業務。
（３）学生支援関係（健康管理，入学料免除，授業料免除，入学料徴収猶予，奨学金および就職支援等）に関する業務。
（４）入学者選抜および大学教育の改善に関する調査・研究に関する業務。ただし，調査・研究結果の発表に際しては，個人が特定できないように処理します。
（５）その他，個人が特定できない形式で行う統計に関する業務。

※　一部の業務については，本学より委託を受けた外部の業者において行うことがあります。
※　取得した個人情報は，「個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人九州工業大学個人情報の保護に関する規則」に基づき，適切に取り扱います。

１８．入学試験に関する問い合わせ先

本学の帰国生徒選抜に関する照会については，月曜日から金曜日（ただし，祝日を除く。）の８時３０分から１７時１５分までの間に，下記に問い合わせてください。

工　学　部	九州工業大学（戸畑キャンパス） 大学院工学研究院事務課教務係 〒804-8550　福岡県北九州市戸畑区仙水町１番１号 電話　093-884-3332
情報工学部	九州工業大学（飯塚キャンパス） 大学院情報工学研究院教務学生支援課教務係 〒820-8502　福岡県飯塚市川津６８０番４ 電話　0948-29-7519

※不測の事態発生時等における諸連絡

災害など不測の事態が発生し，入学試験を予定どおりに実施できない場合の対応については，本学のホームページ(https://www.kyutech.ac.jp)等により周知しますので，注意してください。

また，不測の事態等（大規模な災害・交通機関の遅延等）により受験できない恐れのある者は，上記「１８．入学試験に関する問い合わせ先」に連絡してください。

１９．安全保障輸出管理

九州工業大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め，外国人留学生等の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので，注意してください。

なお，詳細については，　下記のホームページを参照してください

○外国人留学生の取扱について
https://www.kyutech.ac.jp/exchange/anpo.html

２０．ノートパソコンの必携

九州工業大学では，非常に多くの授業でパソコンを用いた演習が行われており，演習以外でも電子データでの教材配布やレポート提出などパソコンの利用が必須となっています。このことから，本学に入学するすべての学生を対象にノートパソコンの必携化を実施し，入学までに準備いただく各個人所有のノートパソコンを大学や自宅での学修に利用していただきます。学部によりスペック要件が異なりますので，本学ホームページで詳細をご確認のうえ，ご準備ください。

なお，本制度に伴う経済的支援についても本学ホームページに掲載しています。

○九州工業大学ホームページ（ノートパソコン必携化）
https://www.kyutech.ac.jp/campuslife/kyutech_byod.html

２１．入学後の住居

本学では，住居等の斡旋は行っておりません。

なお，民間の不動産会社のほか，本学戸畑キャンパス及び飯塚キャンパスの中には九州工業大学生活協同組合（大学生協）があり，アパート探しだけでなくパソコン，教科書・教材に関する紹介も行う【新入生サポートセンター】を期間限定で開設しています。

また，新入生サポートセンターではオンラインでのお部屋探しにも対応しております。

詳しくは，九州工業大学生協の『受験生・新入生応援サイト』を参照してください。

〇受験生・新入生応援サイト
http://kyushu.seikyou.ne.jp/kit-coop/newlife-t/

２２．キャンパス全面禁煙

九州工業大学では，学生並びに教職員の疾病予防，健康の維持・増進，さらには快適な学習・職場環境づくりを推進していくために，全キャンパスを全面禁煙としています。

なお，詳細については，下記のホームページを参照してください。

〇キャンパス全面禁煙宣言
https://www.kyutech.ac.jp/information/nonsmoking.html

２３．各学部のアドミッションポリシー

工　学　部

【技術者としての育成目標・求める人物像】

工学部は大学開学以来の学部で，１１０年を超える歴史をもちます。建学の精神である「技術に堪能なる士君子」，安川敬一郎氏の「錬心壮膽（胆）」に象徴される理念が今も伝統として残るとともに，その精神は工学部の専門教育の中で知識と技術の修得とともに育まれてきました。

工学部では大学全体の入学者受入方針に加え，１１０年を超える歴史と伝統に基づく「ものづくり」をキーワードとして，建設社会工学科，機械知能工学科，宇宙システム工学科，電気電子工学科，応用化学科，マテリアル工学科の６学科それぞれの分野において，高度な専門技術を身につけた人材を養成します。

工学は各専門領域の工学体系において，より効率的に，快適に，高度利用することをめざした学問です。工学部は，これからの地球や生活環境に調和した技術を創出し，社会に貢献する人を世に送り出すために，幅広い教養，豊かな人間性，技術者としての高い倫理観，そしてグローバル社会で活躍できるコミュニケーション能力を備えた技術者の育成をめざしています。

そこで，工学部が入学時点で入学者にもっていてほしいと期待する素養や能力は以下のとおりです。

(1)数学，理科（物理・化学）を学ぶことが好きで，それらの基礎学力をもつ人
(2)ものづくりに興味があり，工学における高度で幅広い知識を修得する意欲と工学にかかわる問題の解決に情熱をもって取り組める人
(3)自己の向上をめざすさまざまな活動に主体的に参加して，多様な知識を吸収し，自信に満ちた意思を伝えることができる人
(4)ものづくりやシステムの構築に協働して取り組むことを好み，最後までやりとげる意欲をもつ人

本学部での授業内容を理解するために，高等学校等における数学と理科（物理・化学）を特に学んでおくことを望みます。

【入学者選抜の基本方針】

帰国生徒選抜

外国での修学経験をもち，数学・理科・英語などの基礎学力を有することを問う選抜です。そのために，適性検査（個人面接及び CBT）で主に(1)，(2)を，主体性等評価（個人面接）で主に(3)，(4)を評価します。

具体的には，様々な国で多様な教育を受けているという受験者それぞれの事情も十分に考慮しつつ，適性検査として英語に関する基礎的学力を CBT（Computer Based Testing）で確認します。また，面接試験（数学・理科に関する基礎的問題についての口頭試問等を含む）及び出願書類審査によって，入学後の修学に必要な基礎学力の有無を評価するとともに，主体性等申告書の内容も参考しながら，工学に対する適性を評価します。

（類別の育成目標・求める人物像）

工学１類
【技術者としての育成目標】
建築・国土デザイン系の学問の基礎を学び，建設社会工学科へ進級する類型です。「豊かな生活空間及び都市・建築の創造」，「災害に強い社会基盤の建設と運用・維持管理」に関する知識・技術を修得し，安心と豊かさを実感できる国土及び安全快適で環境と調和した社会基盤施設や建築物をつくり，それらを通じて持続可能な社会の形成に貢献できる，人間性豊かな高度技術者の育成をめざしています。
【求める人物像】
理数系科目に興味があり，数学と理科（理科の中では，特に，物理）に関して高い能力と関心をもつ人
建築・国土デザイン分野に興味があり，種々の建築物及び社会基盤施設の安心・安全な設計・施工技術や都市・地域における持続可能な「まちづくり」に高い関心をもち，能動的に学修に取り組む意欲のある人

工学２類
【技術者としての育成目標】
機械・制御系の学問の基礎を学び，機械知能工学科や宇宙システム工学科へ進級する類型です。身の回りで起こる様々な自然現象を支配する原理や力学法則を理解し，その知識を活用して人類の幸福や自然との共生，先進的な宇宙利用に役立つ「もの」をつくることができ，広い視野をもって時代の変化に柔軟に対応できる能力を備えた高度技術者の育成と，宇宙システムに代表される複雑な工学システムの創成，研究開発，製造，運用を担える高度技術者の育成をめざしています。
【求める人物像】
機械・制御・宇宙工学分野に関心があり，主体的に学修に取り組み楽しむことができる人
専門性を基礎として新たな価値の実現にチャレンジし続ける人
国際性を身につけ，高い見識と品格を有する高度技術者たらんと努力する人

工学３類
【技術者としての育成目標】
電気・電子・通信系の学問を修得するために必要となる基礎科目を学び，電気電子工学科や宇宙システム工学科へ進級する類型です。電力，電気電子材料，電子回路・機器とそれらを結ぶシステム技術を含む幅広い知識と技術を修得し，電気に関連した技術を利用する全ての産業・社会分野において，創意を発揮し，あらたな技術の開発，「もの」やシステムを創出できる行動力のある高度技術者の育成と，宇宙システムに代表される複雑な工学システムの創成，研究開発，製造，運用を担える高度技術者の育成をめざしています。
【求める人物像】
電気・電子・通信・宇宙工学分野に関心をもつ人
将来，電気エネルギーを高度に利用するためのシステム，機能材料や電子機器の設計，さらに電気の学問分野に関連する光，音，波の要素技術，それらと高度情報処理技術を融合した次世代のコンセプトの創出に取り組める素養の形成に能動的に取り組める人

工学４類
【技術者としての育成目標】
化学系の学問の基礎を学び，応用化学科へ進級する類型です。有機化学，無機化学，物理化学，化学工学の基礎知識を学び，環境，エネルギー，バイオ，医薬などにかかわる新材料の合成から化学プラントの設計まで，化学に関する幅広い知識・技術を修得して，人類と地球に優しい新しい物質を作り出し，未来の社会に貢献できる高度技術者の育成をめざしています。
【求める人物像】
理数系科目に興味があり，特に化学に関して高い能力と関心をもつ人
エネルギー，環境，バイオ，医療などに貢献する新材料をつくり出し，先端産業の発展に貢献したい人
化学技術や新物質が自然や社会に及ぼす影響を考え，新しい工業生産技術・方法を開発したい人

工学５類
【技術者としての育成目標】
マテリアル系の学問の基礎を学び，マテリアル工学科や宇宙システム工学科へ進級する類型です。鉄鋼，合金，半導体，セラミックス，複合材料など「もの」の性能を決定するマテリアルの構造と性質を科学的に解明し，新しいマテリアルを設計製造するなど，高度な材料開発とともに，資源，リサイクル，エネルギー問題にも取り組むことができる高度技術者の育成と，材料分野に興味を持ちつつ宇宙システムに代表される複雑な工学システムの創成，研究開発，製造，運用を担える高度技術者の育成をめざしています。
【求める人物像】
マテリアル工学・宇宙工学分野に関心があって，数学，理科などに関する基礎学力を身につけており，能動的に学修に取り組む意欲をもつ人
それに加えて，自分の考えを明解かつ論理的に表現できるコミュニケーション能力の向上に意欲があり，倫理観を身につけチャレンジ精神に満ちた技術者をめざす人

情報工学部

【技術者としての育成目標・求める人物像】

情報工学部は，昭和６１年（１９８６年）に日本初の情報工学部として設置されました。以来，１万人を超える情報通信技術者を生みだし，卒業生は，様々な分野で日本の情報通信革命を支えてきました。

本学の入学者受入方針に加え，特に，「情報」をキーワードとして，知能情報工学科，情報・通信工学科，知的システム工学科，物理情報工学科，生命化学情報工学科の５学科のそれぞれの分野において，高度な専門技術を身につけた人材を養成します。そのため，将来の科学と技術の進歩にも十分対応できる基礎学力と情報化社会をリードする専門性を身につける教育を各学科において行います。さらに，「技術に堪能なる士君子」という本学の建学の精神のもとに，幅広い教養や豊かな人間性，技術者としての高い倫理観，そしてグローバル社会で活躍できるコミュニケーション能力を備えた技術者の育成をめざしています。

そこで，情報工学部では，次のような素養と能力をもつ人材を求めます。

(1)数学，理科（物理，化学，生物等），情報などの理数系科目の基礎学力をもつ人
(2)科学と技術，特に情報工学及びそれを用いた先端技術に興味があり，それらを用いて世の中を変えていくことや社会の問題を解決することに強い関心と意欲をもつ人
(3)国際社会と文化に興味と関心をもち，グローバル化に対応するコミュニケーション能力の修得に意欲をもつ人
(4)ものごとを論理的に表現でき，自律的に学び，多様な人々と協働して活動する態度を身につけている人

本学部での授業内容を理解するために，高等学校等における数学と理科を特に学んでおくことを望みます。

【入学者選抜の基本方針】

帰国生徒選抜

外国での修学経験をもち，数学・理科・英語などの基礎学力を有することを問う選抜です。そのために，適性検査で主に(1)，(3)を，主体性等評価で主に(2)，(4)を評価します。

具体的には，様々な国で多様な教育を受けているという受験者それぞれの事情も十分に考慮しつつ，数学・理科・英語に関する基礎的学力をCBT（Computer Based Testing）及び面接（数学及び理科）による適性検査で確認し，主体性等に関する評価を面接及び「主体性等申告」の入力内容で確認します。また，面接試験においては，「主体性等申告」の内容と「適性検査のうち数学及び理科」の口頭試問により，学びに対する主体的な態度の有無や適性等を確認します。これらと出願書類の審査を合わせて，入学後の修学に必要な基礎学力の有無を評価するとともに，専門に対する適性を評価します。

（類別の育成目標・求める人物像）

情工１類

【技術者としての育成目標】
　情報工学の基礎を学び，知能情報工学科や情報・通信工学科へ進級する類型です。データ科学，人工知能，メディア情報学，ソフトウェアデザイン，情報通信ネットワーク，コンピュータ工学を中心とした情報工学の最先端に関する幅広い知識・技能を育成することで，社会の様々な要求にこたえる情報システムを構築できる高度技術者に必要な能力を発展・向上させます。
【求める人物像】
　理数系科目に興味があり，特に数学に関して高い能力と関心をもつ人
　情報工学を通して，人とコンピュータが協調する新しい情報システムの実現に意欲的に取組み，コンピュータと通信を駆使した次世代スマート社会の実現に興味をもつ人

情工２類

【技術者としての育成目標】
　情報工学の基礎を学び，知的システム工学科を中心として情報工学部の全学科へ進級できる類型です。機械工学と制御工学を中心として，主として工学の諸分野と情報工学を融合することで，ロボティクス，システム制御，先進機械を中心とした分野に関する幅広い知識・技能を育成することで，新しい情報技術を創出できる高度技術者に必要な能力を発展・向上させます。
【求める人物像】
　理数系科目に興味があり，数学と理科のいずれにも能力と関心をもつ人
　情報工学と工学諸分野の融合やそれによる社会に及ぼす影響に深い関心をもち，人と未来を繋ぐ知的システムの創造に興味をもつ人

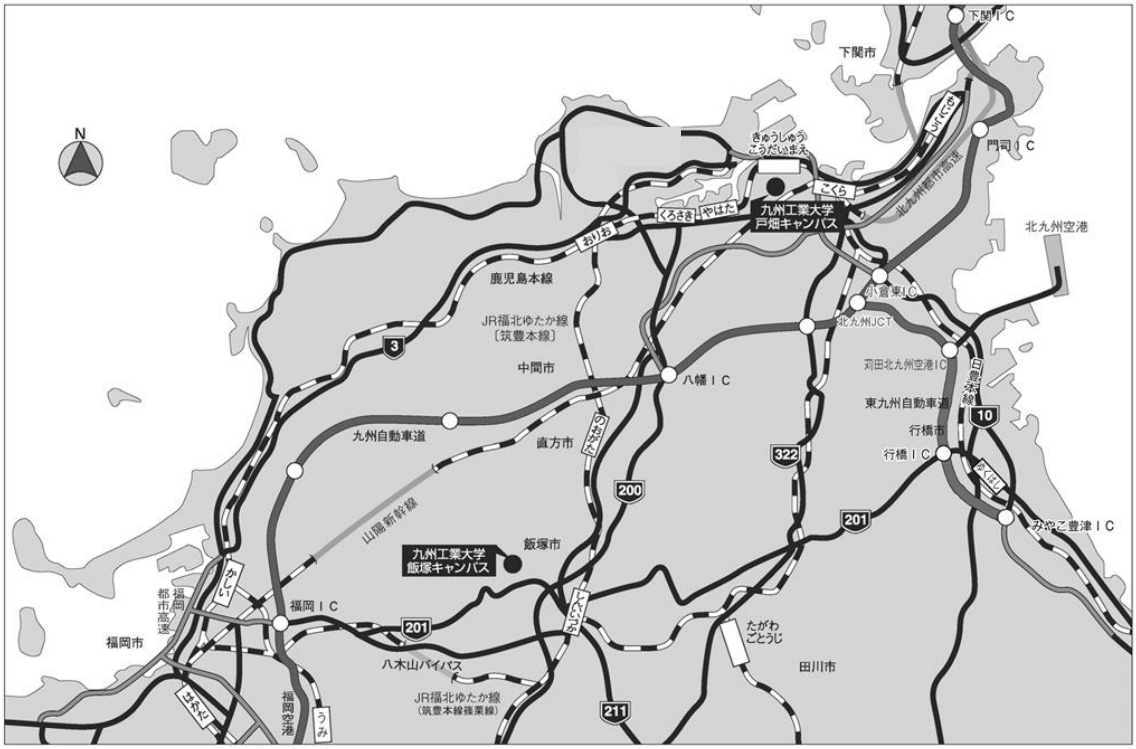
情工３類

【技術者としての育成目標】
　情報工学の基礎を学び，物理情報工学科や生命化学情報工学科へ進級する類型です。物理学，化学，生物学といった自然科学に情報工学を適用し，電子物理工学，生物物理工学，分子生命工学，医用生命工学を中心とした分野に関する幅広い知識・技能を育成することで，新しい情報技術を創出できる総合的な能力を身につけた高度技術者に必要な能力を発展・向上させます。
【求める人物像】
　理数系の科目に興味があり，特に理科に関して高い能力と関心をもつ人
　情報工学の自然科学への応用に深い関心をもち，物理学・化学・生物学と情報の力で世界を解き明かすことによりイノベーションを創出したい人

◆過去の帰国生徒選抜実施状況

学部・類 ＼ 募集人員等 ＼ 年度		令和４年度					令和５年度				
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
工学部	工学１類	若干名	1	1	1	0	若干名	1	1	0	0
	工学２類	〃	1	0	0	0	〃	2	2	0	0
	工学３類	〃	0	0	0	0	〃	1	1	0	0
	工学４類	〃	0	0	0	0	〃	1	1	0	0
	工学５類	〃	0	0	0	0	〃	0	0	0	0
	小計	若干名	2	1	1	0	若干名	5	5	0	0
情報工学部	情工１類	若干名	4	3	0	0	若干名	5	5	0	0
	情工２類	〃	1	1	0	0	〃	0	0	0	0
	情工３類	〃	0	0	0	0	〃	1	1	0	0
	小計	若干名	5	4	0	0	若干名	6	6	0	0
合計		若干名	7	5	1	0	若干名	11	11	0	0

◆試験場までのアクセス（九州工業大学の所在地）



TOBATA

工学部（戸畑キャンパス）

●所在／福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

IIZUKA

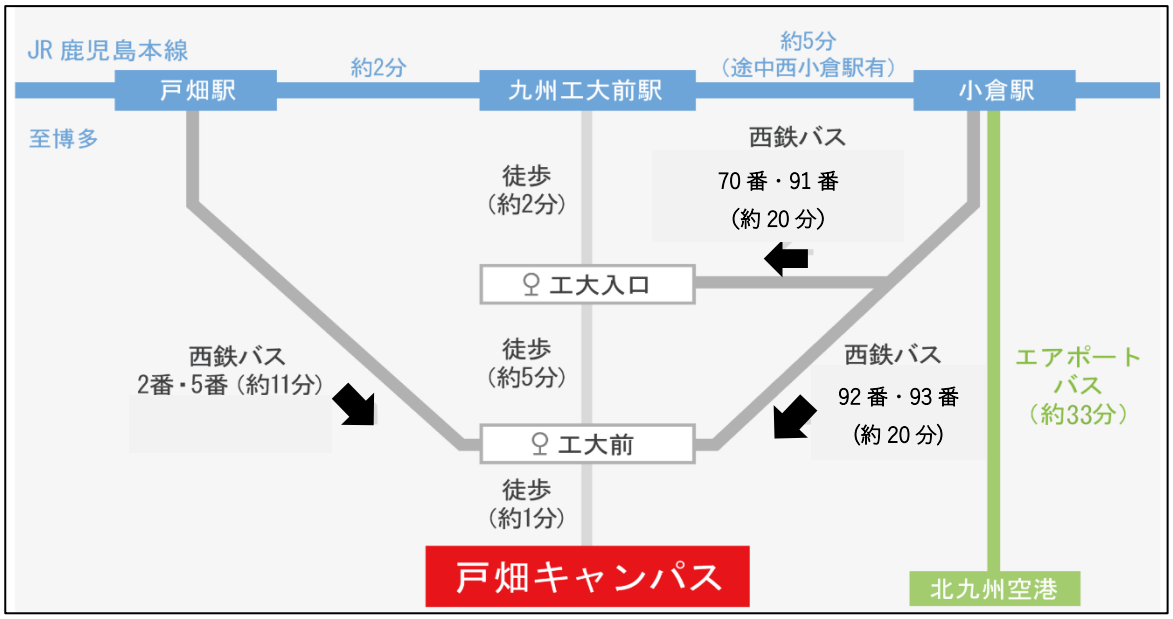
情報工学部（飯塚キャンパス）

●所在／福岡県飯塚市川津680番4

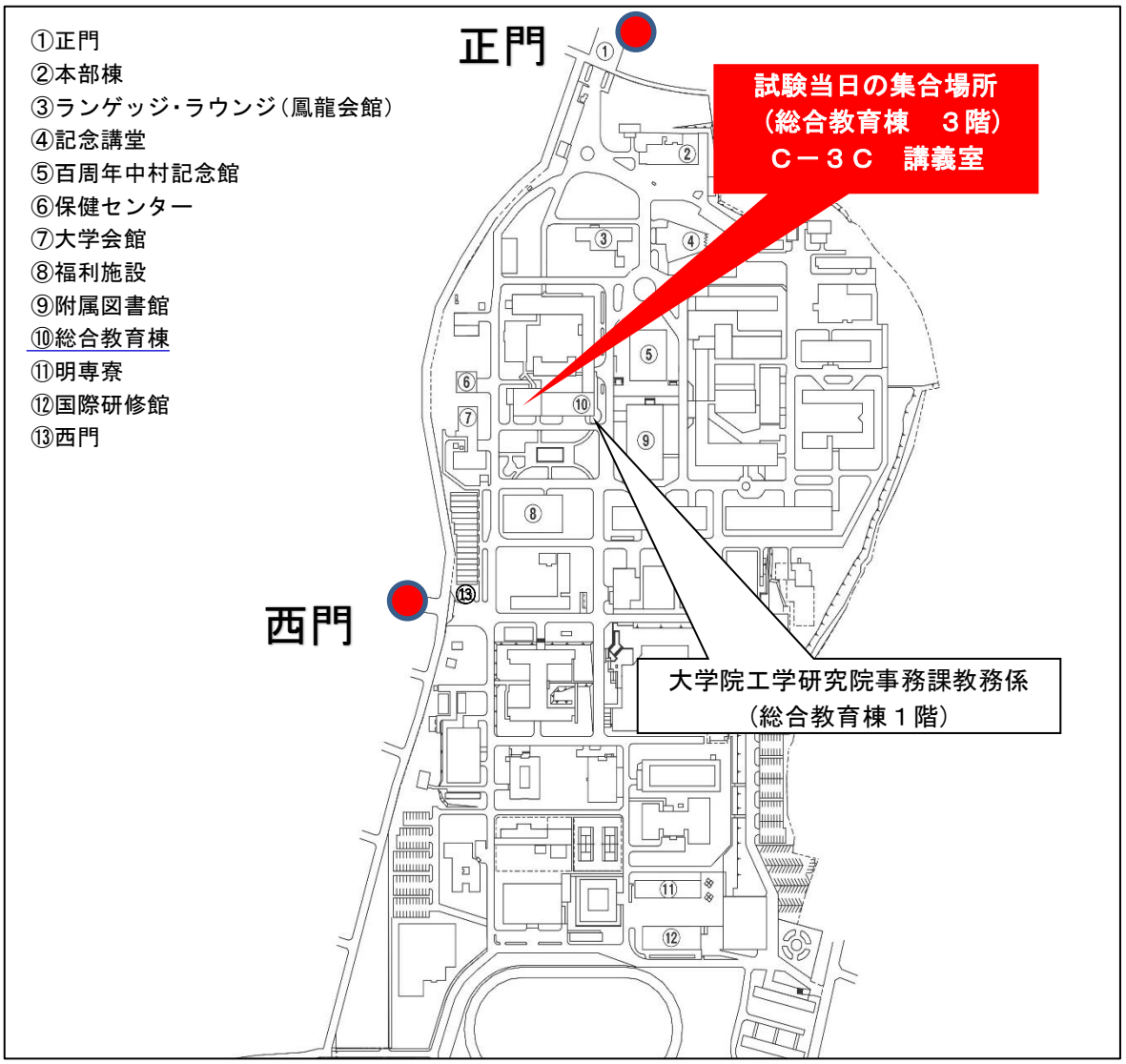
◆ 九州工業大学工学部（戸畑キャンパス）　※工学部受験者の試験場

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町１番１号（戸畑キャンパス　総合教育棟）

【交通のご案内】



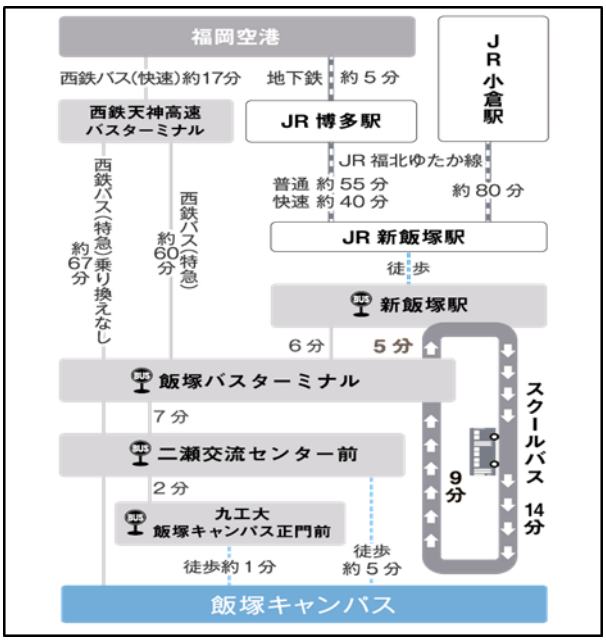
【キャンパスマップ】



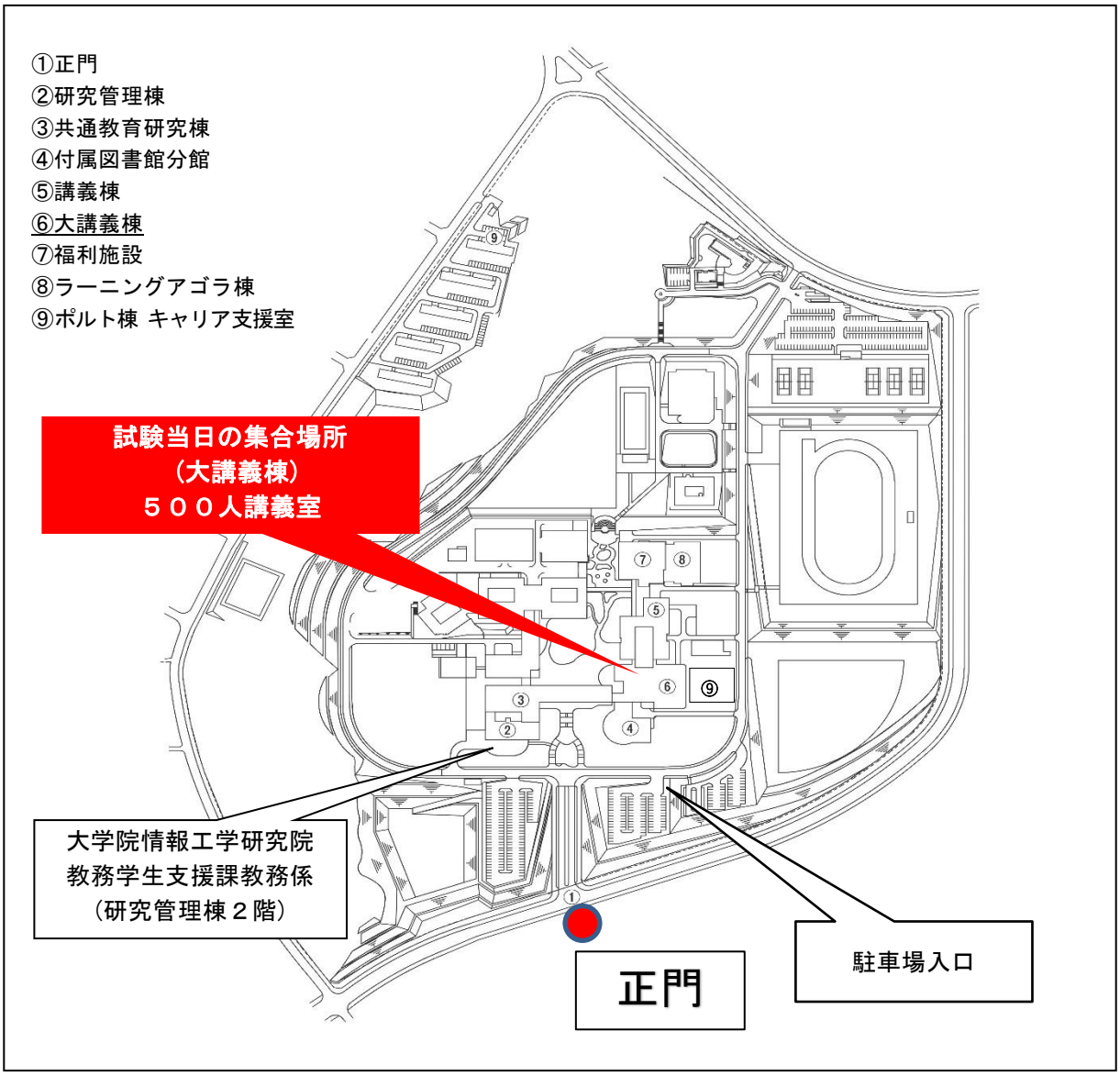
◆ 九州工業大学情報工学部（飯塚キャンパス）　※情報工学部受験者の試験場

〒820-8502 福岡県飯塚市川津６８０番４（飯塚キャンパス　大講義棟）

【交通のご案内】



【キャンパスマップ】



九州工業大学

入試課入試係
〒804-8550　福岡県北九州市戸畑区仙水町１番１号
電話　093-884-3056
FAX　093-884-3060

大学院工学研究院事務課教務係
〒804-8550　福岡県北九州市戸畑区仙水町１番１号
電話　093-884-3332
FAX　093-884-3090

大学院情報工学研究院教務学生支援課教務係
〒820-8502　福岡県飯塚市川津６８０番４
電話　0948-29-7519
FAX　0948-29-7517